

## □学園都市□

科学の粋を結集した学問の都市。

ここでは「能力者」といわれる特殊能力を持つ学生を研究・育成している。

超能力研究の恩恵は大きい。

能力者たちの強力な軍事力、都市外の数世代先を行く科学力、それらがこの都市の政治力を大きなものにしていった。

だがある日突然その栄華は崩壊する。

無能力者の反乱がおきたのだ。

能力を持たぬ者たちは長年底辺の扱いを受けてきた。

彼らの不満が爆発したのだ。

だが本来であれば無能力者の反乱など大したことはない。

しかし能力者の力を封じる装置「キャパシティダウン」を大量に使用され頼みの綱の能力者は無力化されてしまえばどうしようもない。

元々学園都市を良く思わぬ外部勢力の支援もあり

簡単に都市のシステムは崩れ去った。

学園都市は内外に敵を作りすぎていたのだった。

反乱勃発から数ヶ月。もはやアンチスキルの抵抗勢力も力を失い都市内は暴力が支配する世界となっていた。

市街地では倫理観を失った学生たちがいたるところで

平然と女性を強姦し慰み者に行っている。

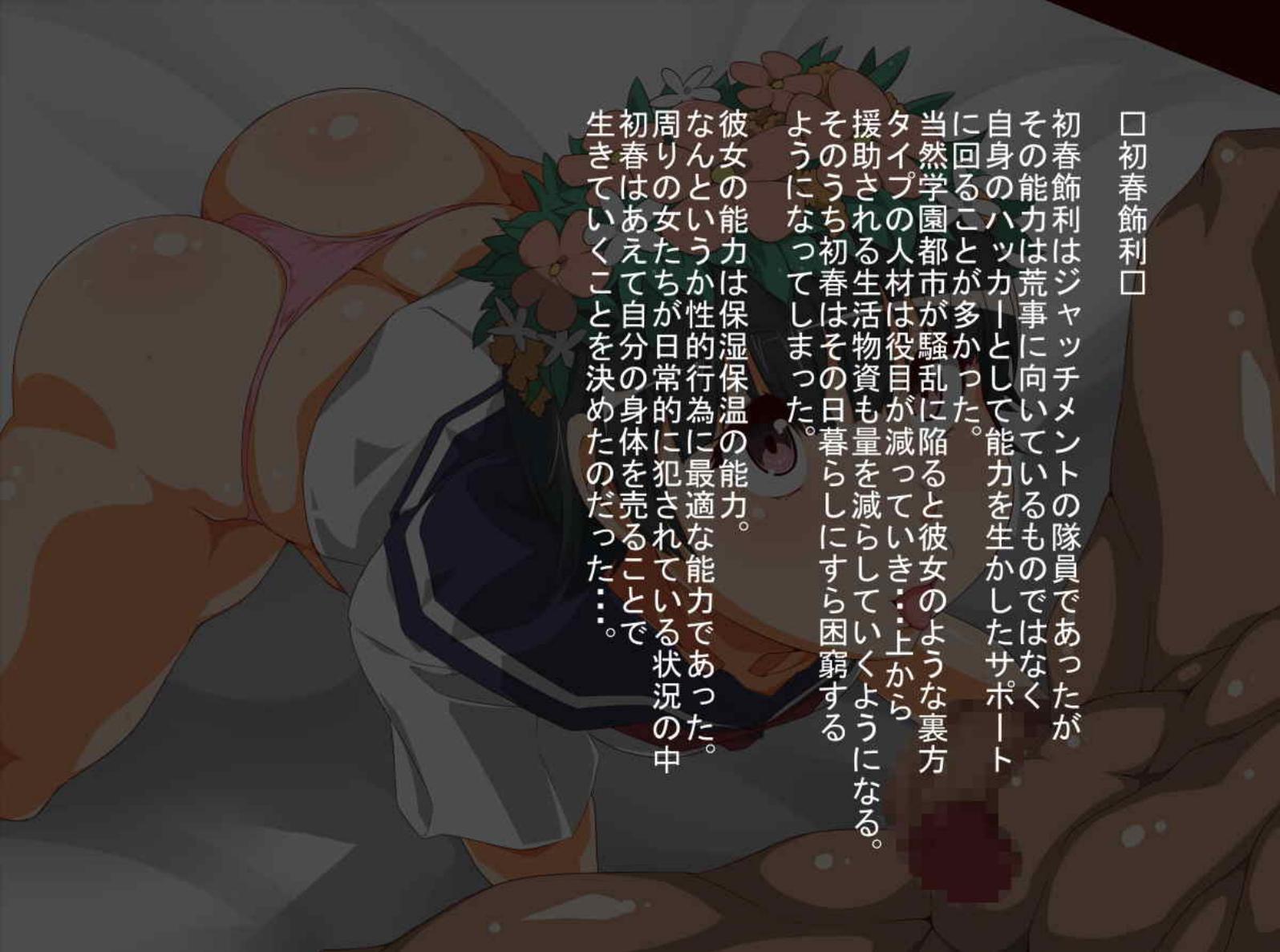
元能力者は見つかれればただでは済まない、男は殺され

女なら乱暴されて性奴隷にされる。

アンチスキルや風紀委員などは賞金がかげられ

逆に追われる身となっている。

この街はもう壊れてしまっていた……。

An illustration of a character with long dark hair, wearing a grey and blue outfit, and a crown of pink and orange flowers. The character is looking down with a somber expression. The background is dark and textured, resembling a cave or a rocky surface.

□初春飾利□

初春飾利はジャッチメントの隊員であったが、その能力は荒事に向いているものではなく、自身のハツカーとして能力を生かしたサポートに回るが多かった。当然学園都市が騒乱に陥ると彼女のような裏方タイプの人材は役目が減っていき：：上から援助される生活物資も量を減らしていくようになる。そのうち初春はその日暮らしにすら困窮するようになってしまった。

彼女の能力は保湿保温の能力。なんとというか性的行為に最適な能力であった。周りの彼女たちが日常的に犯されている状況の中で初春はあえて自分の身体を売ることによって生きていくことを決めたのだった：：。



ヒヒヒ  
き…君が初春ちゃんかい？  
予想してたよりずつとかわいいね  
君みたいな清纯っぽい女の子と  
エッチできるなんて最高だなあ…

えへ…ありがとうございます  
わたしもお兄さんみたいな人と  
なら大歓迎ですよ！  
でも…約束は守ってくださいね  
（今日の相手はこの人かあ…）  
緊張しちゃってカワイいなあ…

う、うん約束通り食べ物には渡すよ  
じゃあさっそく啜えて…  
うわあああああああ！  
きつ気持ちいいいい！なにこれ！？  
お口の中がホカホカだよ！

えへへ気持ちいいですか？  
私の能力は定温保存  
ホツカホカのお口マンコ  
になるんです！  
(私ぐらゐの低能力なら  
今の学園都市内でも使用  
できるんですよ)



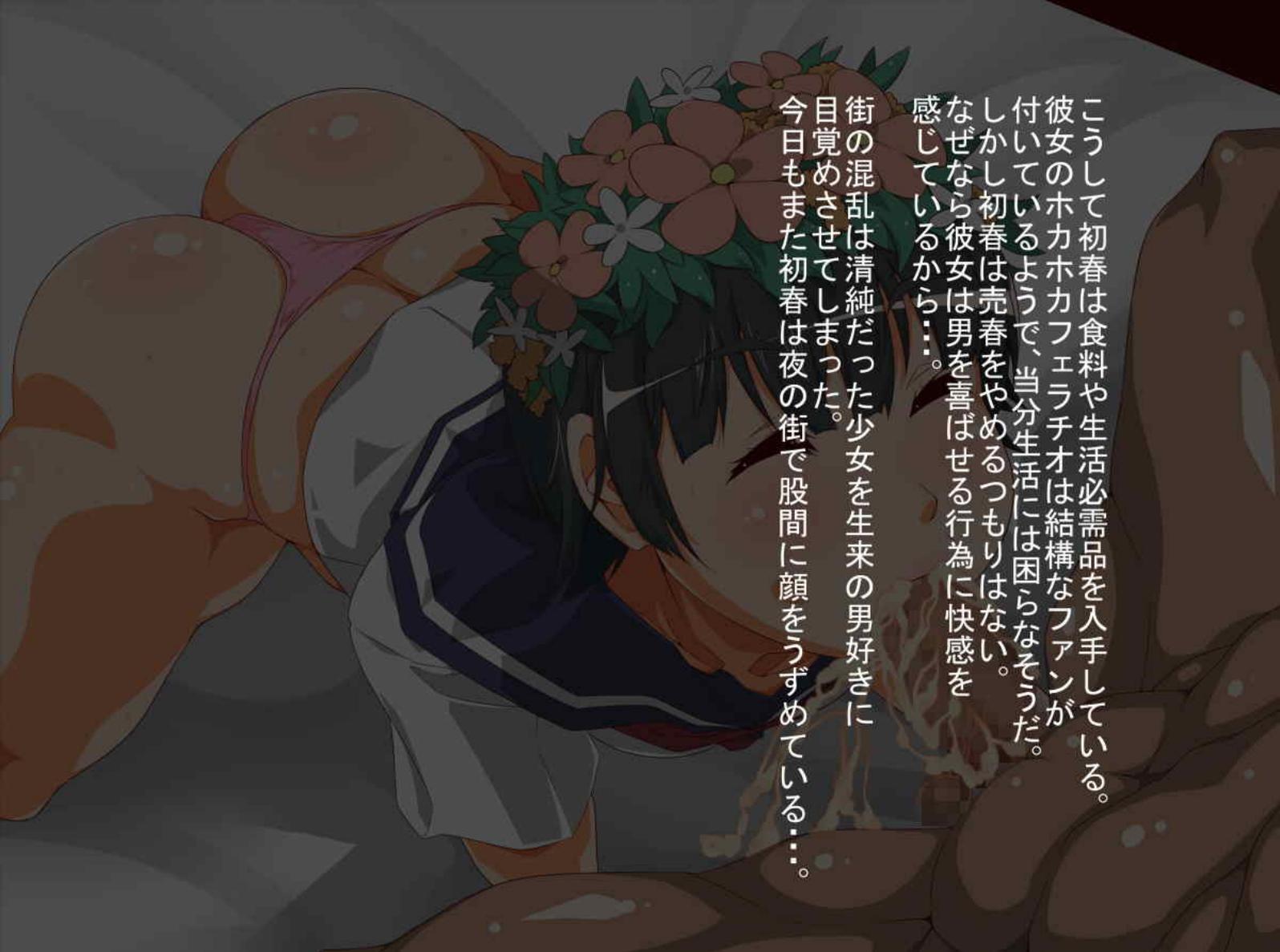




ああああ……よかったよ初春ちゃん  
こんなに射精させてしかも  
僕の精液飲み込んでくれるなんて  
感激だよ……っ！

（えへへ……  
オチンチンおしやぶりして  
こんなに簡単に  
食べ物ももらえるなんて  
やっぱりこのお仕事は  
とっっても最高です）





こうして初春は食料や生活必需品を入手している。  
彼女のホカホカフェラチオは結構なファンが  
付いているようで、当分生活には困らなそうだ。  
しかし初春は売春をやめるつもりはない。  
なぜなら彼女は男を喜ばせる行為に快感を  
感じているから……。

街の混乱は清純だった少女を生来の男好きに  
目覚めさせてしまった。  
今日もまた初春は夜の街で股間に顔をうずめている……。

□初春飾利2□

初春が生活のため売春をするようになってからはや数ヶ月。学園都市は完全に都市機能を崩壊させており外部から入ってくる僅かな密入物資が住民の生活の糧となっていた。身体を売ることですることとでそういった物資をわけてもらえる。奴隷に身を落したり、命を落したりする者が続出するなかでは初春はかなりいい生活ができていたといえた。

さて彼女は最近さらに節操がなくなってきた。甘味など貴重な嗜好品を手に入れるため本番まで許すようになってしまった。お菓子への物欲、気持ちの悪い性行為、清純だった彼女の倫理観は失われていく……。



初春ちゃん今日は約束通り  
パステイチアマニカーニのケーキ  
ホールで用意したよ……  
これで本番やらせてくれるんだよね  
がっ我慢できないよ……っ！

わああああ  
すごいですねえっ！  
ホントに用意してくれるなんて  
わかってますよ♥今日はお礼に  
トロトロオマンヨでドピュドピュ  
させてあげますね♥



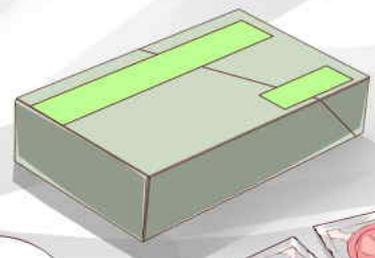
そ…それじゃあ挿入れるよっ！

あ！？温かいいいい…っ！

初春ちゃんはおまんこも

こんなにあつたかいんだあ！  
これはたまらないよっ！

プッ  
プッ



あんっ♡入ってきました  
あなたのオチンチン力  
私結構お気に入りで  
高ですよ

♡初春のホットオナホ  
♡たっぷり味わってくださいね





ふうう…射精たあ…  
あつ…初春ちゃんゴメンネ  
我慢できなくて腔内に射精し  
ちやっただよ  
お詫びに今度はケーキもう  
一個追加して持ってくる  
からね

えへ♡いいですよ  
やっぱり生で腔内射精  
したほうが気持ちいいん  
ですもんね♡  
ゴムなんか付いたり  
外で射精したらかわいそう  
オチンチンが  
ですよ♡  
今日は朝まで種付け  
しまくってくださいな♡♡





妊娠のリスクなどこれっぽっちも考えていない  
退廃的なセックスは続く。  
初春にはもうお菓子の事とセックスの事しか  
頭にはない。  
今日も明日もセックス漬けの彼女にとって  
幸せな日々は続くのだった……。

□フェブリ□

騒乱が起きて数週間フェブリは混乱を避けるため研究所に隠されていた。しかし人造人間である彼女の生命維持に必要な毒素中和剤入りキャンデーは尽き始めていた。

そのためまだ活動を続けることができている別の研究所に彼女を移送することとなったのだが混乱のためか輸送計画は露見していたのだった。

裏街道を隠れながら進んでいた所を車両ごと暴漢たちに奇襲されあっけなく制圧されてしまう。護衛たちは倒され中にいたフェブリも車外へとひきずりだされてしまう。

男達の狙いはやはり女である。

フェブリはまだだが性欲を満たせればそんなことはどうでもいいらしい。倫理観の欠如した獣たちは股間をいきり立たせフェブリに襲い掛かるのだった。

うひょーっ！  
野郎しかいねえと思ったら  
めっちゃかわいい  
見つけた！

おいガキお前名なんていうんだ？

フェ…フェブリ

ドクッ

フェブリちゃんかあ  
じゃあフェブリちゃんには  
おちんちんおしゃぶり  
してもらおうかなあ。

オチンチン？

ボロッ

「こうやるんだよ！  
おらっ！」

んぶう！  
くくきいっ  
これくわえるのやあ

噛むんじゃねえぞ  
歯立てたらどうなるか  
わかってんだろうな！

おお…  
温かくて最高だな…

んう。

バキッ



いいぞお……  
そうやって口を開けて  
舌を絡めるんだ……

いいなあ  
こんな  
に  
フェラチオさせられる  
なんて……たまんねえ  
早く変われよな

う……う……  
やべえもうイキそうだ





おお…大量にでたな  
何日も女喰えてなかったからな

出したんなら  
さっさとかわれよ  
俺もさっきから  
ガチガチなんだよ

わかったよ  
みんなで回して  
楽しむとするか

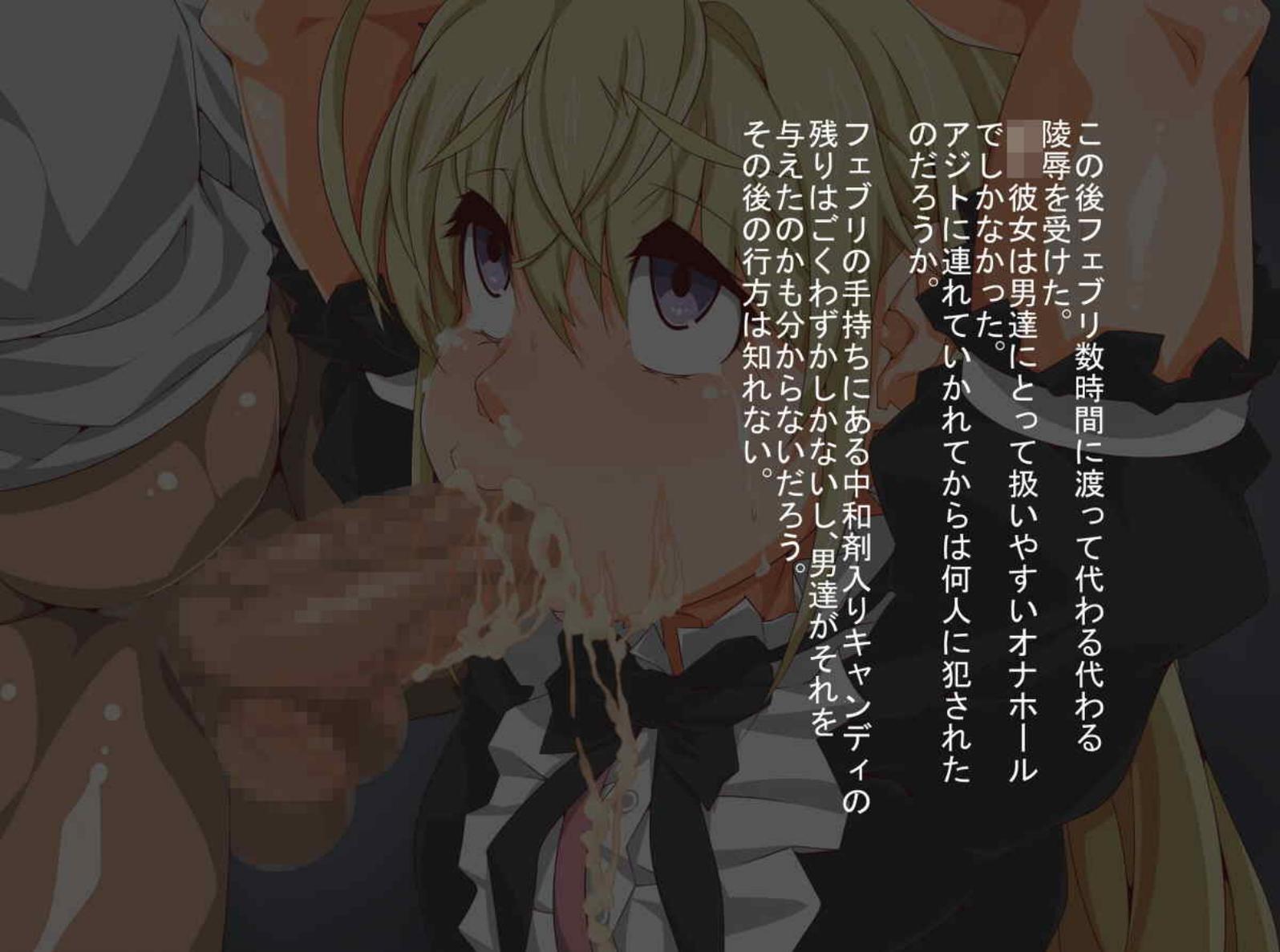
後でアジトで下の穴も  
使おうぜ

い

ち

ボ  
ッ  
ボ  
ッ





この後フェブリ数時間に渡って代わる代わる  
陵辱を受けた。  
彼女が男達にとって扱いやすいオナホール  
でしかなかった。アジトに連れていかれてからは何人に犯された  
のだろうか。

フェブリの手持ちにある中和剤入りキャンディの  
残りはごくわずかしかないし、男達がそれを  
与えたのかも分からないだろう。その後の行方は知らない。

□黄泉川愛穂□

黄泉川は教師でありアンチスキルでもある。反乱が起きてからレジスタンスとして抗戦を続けてきた彼女だったがこの日は比較的安全な学校で避難民のための炊き出しに従事していた。

スキルアウトたちの襲撃はまさに狡猾であった。なんと避難民に紛れ込み油断していた職員達と学生を瞬く間に人質にしてしまったのだ。元々あまり武装していなかったアンチスキル側は有効な抵抗ができず投降してしまう。

炊き出し会場は一瞬で集団レイプ会場となってしまう。女は職員も学生も次々と押し倒される。男は気絶させられるか抵抗すれば射殺された。

そして黄泉川の元にも何人もの男達が彼女の豊満な肉体を楽しもうと集まってきたのだった。

教師に襲い掛かるなんて  
いい度胸じゃない  
さっさと放さない  
どうなるかわかってんだろな！

(こいつらこの私をレイプする  
つもりじゃん……)

キッ

ヒュー……おお怖……  
この状況でよく強気になれるな  
このクソアマ

黄泉川……手前のエロい身体  
どんだけ犯してやりたかったか  
ヒヒヒ……

ブルン

うりや!  
生挿入開始

ちよっ! 待て……!  
があ! ああああ!

おお……!  
なんだこのマンコは……  
キツイぜ!  
チンコ喰いちぎられるみてえに

我慢できなくても  
口は使えんじゃねえぞ  
噛み千切られるかも  
知れねえからな……





ああああああ!!!  
でる!射精るう!射精るううう!!!  
孕め!黄泉川妊娠しろお!  
ああ射精るうううう!

やめろ!やめろおお!  
ああああああ!

(こいつ本当に私の中に射精してるじゃんよー!)

ううう……  
黄泉川!放さねえぞ!  
全部出しきってやるからな  
暴れんじゃねええ!

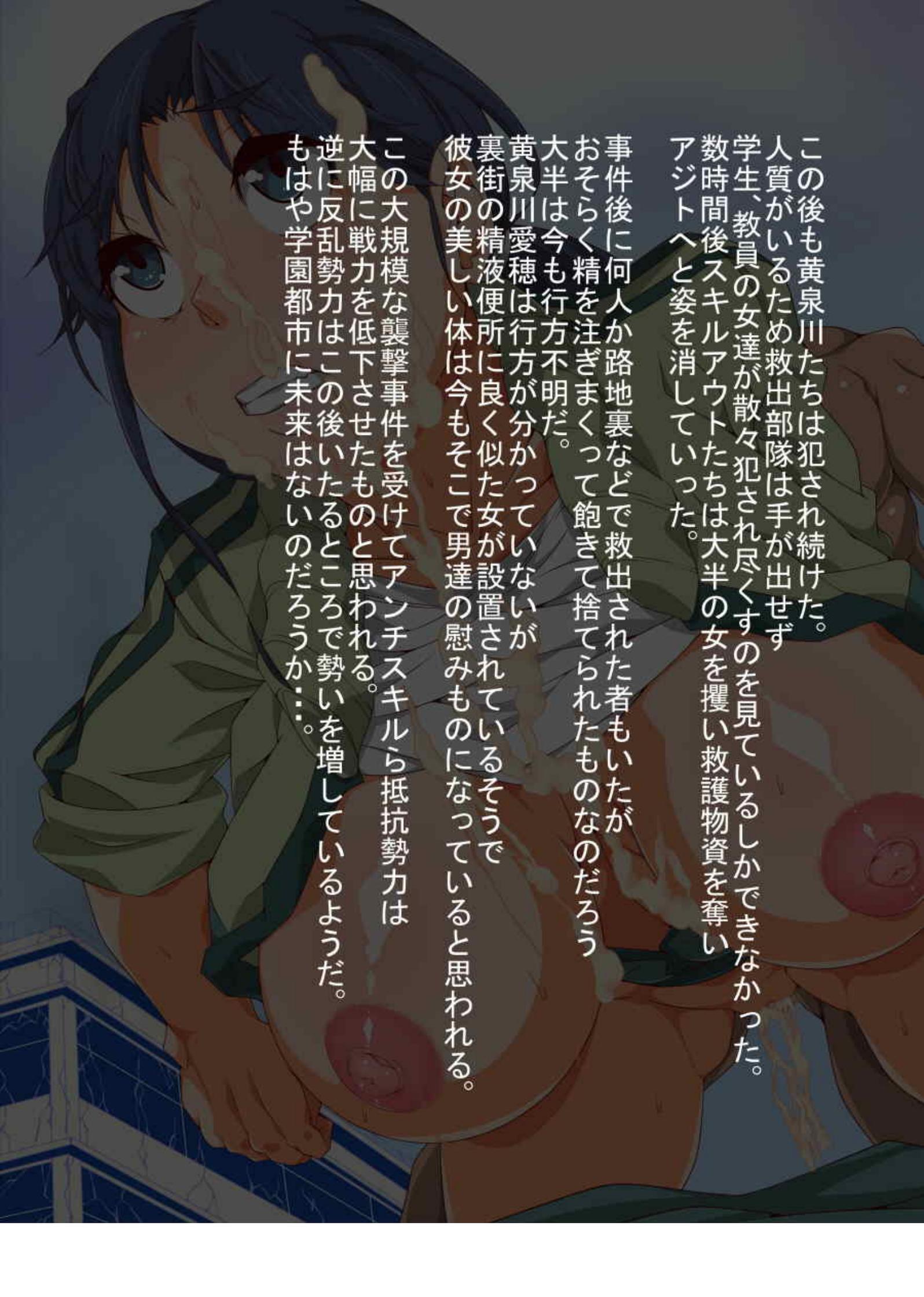


ふうふう……ふう……  
はあっ！たまんねえ  
最高に気持ちいいもんだな  
強い女を種付けレイプする  
感覚はよお……

（……このままじゃホントに  
こいつらの雌奴隷に……  
チンポに逆らえない身体に  
なっちまうじゃんよ……）

次は俺がはめてやるぜえ  
俺もこいつには二度捕まって  
鬱憤が溜まってんだ……  
散々突きまくってやるからなあ

ドゥッ  
ゴッ



この後も黄泉川たちは犯され続けた。人質がいるため救出部隊は手が出せず。学生、教員の女達が散々犯され尽くすのを見ているしかできなかつた。数時間後スキルアウトたちは大半の女を攫い救護物資を奪いアジトへと姿を消していった。

事件後に何人か路地裏などで救出された者もいたが

おそらく精を注ぎまくって飽きて捨てられたものなのだろう。大半は今も行方不明だ。

黄泉川愛穂は行方が分かっていないが裏街の精液便所に良く似た女が設置されているそう。彼女の美しい体は今もそこで男達の慰みものになっていると思われる。

この大規模な襲撃事件を受けてアンチスキルら抵抗勢力は大幅に戦力を低下させたものと思われる。逆に反乱勢力はこの後いたるところで勢いを増しているようだ。もはや学園都市に未来はないのだろうか……。

## □食蜂躁祈□

レベル5の一人食蜂躁祈は能力が使えなくなってから男喰いに走っていた。

彼女の力は人を支配する能力だった。能力が使えなくなり人の意のままに操れなくなったことは食蜂にとって自身のアイデンティティの喪失でもあった。ただの少女になってしまった食蜂に人を操る欲求が募る。

そこで欲求を満たすための男喰いである。

彼女は自身の豊満なボディを生かして道行く男達を誘惑しはじめた。男達は食蜂の■学生離れした淫靡な身体に興奮しなんでも云うことを聞いた。いまや食蜂にとって男を誘惑している時が自身の欲求を満足させられる唯一の時間であった……。

ああ…食蜂ちゃん…  
君みたいなエロい身体の子に  
誘われるなんて夢みたいだよ…!!

うふふう…こんなにピンピン  
にしてま♥たっぷりザーメン  
ビュルビュル出させてあげるわあ♥  
（わたしの魅力にかかれば  
男なんて手玉にとれるのよお♥）



ごくっ…早速啜えて…  
おわあっ!いきなり先っぽ  
強烈に吸い上げ!  
きっ気持ちいい!

じゅるっ♡じゅるろろお♡  
(オチンチン必死でビンビン  
にしてえ♡私の胸と口で  
気持ちよくなるうとしてるう♡  
いいわあ♡射精のことしか  
考えられない性欲人間に  
してあげちやう♡)



ああああああ!!  
なんて強烈なパイフェラなんだあ!  
腰が抜けるううううっ!!  
このビッチがあ!こんなの速攻で  
イってしまいうううううう!!

じゅろろろろっ!じゅぽっ♡  
じゅろろろお!じゅっぽ♡じゅろ  
じゅろろろろろろお♡♡!!  
(ホラホライき狂いなさあい♡  
私の超絶テクで人生最高の射精  
するのよお♡もう二度と  
オナニーなんてできない身体に  
してあげるわあ♡♡)





はあっ……はあっ……  
こいつに全部吸い取られてしまった……  
こんなのもうオナニーなんかじゃ  
抜けないよ……今後はこのビッチに  
溜まったザーメン全部抜いてもらわなきゃ……

ぺろっ♡いっぱい出たわね♡  
こんなに激濃ミルクなら大満足よ♡  
わたしがこれからはあなたのお  
ザーメン全部いたらいちやうからあ  
無駄打ちなんかしたら死刑よ♡





男は食蜂の虜になった。  
食蜂に射精管理され毎日のように大量精飲してもらい  
命令には絶対遵守。  
あたかも働き蜂のようであった……。

□食蜂躁祈2□

食蜂は男達を意のままに操っているつもりだった。だが男の欲望を昂ぶらせる彼女の行動は褒められたものではない。どの男も彼女に従順な者ではないからだ。

その日の食蜂はいつもより大胆で男を誘惑するために退廃した市街地にまでくり出していた。今時不注意に都市部をうろつく婦女子など強姦魔たちの良いカモでしかない。ある集団で強姦強盗を行っている連中が食蜂に目をつける。変な視線を感じたと思ったときにはもう遅かった。数人がかりで路地裏に引きずり込まれ凶器で脅される。彼女はそのとき男の本当の怖さを味わう。捕食する側だったつもりが捕食される側に立たされる恐怖を……



つくかまえたっ……  
女一人で街中歩いてるから  
何事かと思ったぜ  
まあ美味しく頂かせて  
もらいますっ……!

こいつでズツプリ  
刺されたくなくなったら  
おとなしくしとけよ……

ちよつとお……はなしてえ……  
（この状況は不味くない  
かしらあ……この子たち  
操れそうにないわあ……）

最近はやっぴできる獲物も  
少なくなってきたるってのに  
アホだなこいつ……



こんないい女なかなか  
捕まんねえからな  
楽しませてもらうぜ

おらああああ！  
金髪ビッチに挿入う！

ズ  
ズ  
チ

ヒヒヒ  
早くかわれよ？  
全員で2、3周は  
姦さなきゃ満足  
できねえからな……

あああつ……ゴムぐらい  
着けてえ……  
(遠慮なしに生で挿入れる  
なんてえ……最低よお……)



あああつ！  
たまんねえつ！  
ぬめりが絡み付いて  
腰がもつてかれるぜえ！

パンッ  
パンッ  
パンッ

へへへ…  
レイプされてんのに  
感じ始めてんのかよ  
とんだアバズレだな

パンッ

あんっ…だめっ♡  
ちっ違うわあ…  
これはちがうのお♡  
オチンチンが気持ち  
良すぎて声が出てきちゃ  
うわあ…無理矢理され  
るのってこんなにお？  
感じちゃうものなのお？

ヒューッ…すげえ



レイプで感じるビッチに  
遠慮はいらねえなあ!?  
おらあつ!種付けして  
やるぜえ!!!  
射精るう射精るぞおおお  
おおおお!!

ドビュウウウ  
トッ

おお...  
引くぐれえ出てやがる

トッ

ああつ♥あんっ♥  
!?!うっ嘘お!?!  
膣内にだしてるのお!?!  
だめよおお!妊娠しちゃう  
わああ!!ああんっ♥

最初から膣内射精かよ...  
俺らも遠慮はいれねえなあ?

※数時間後

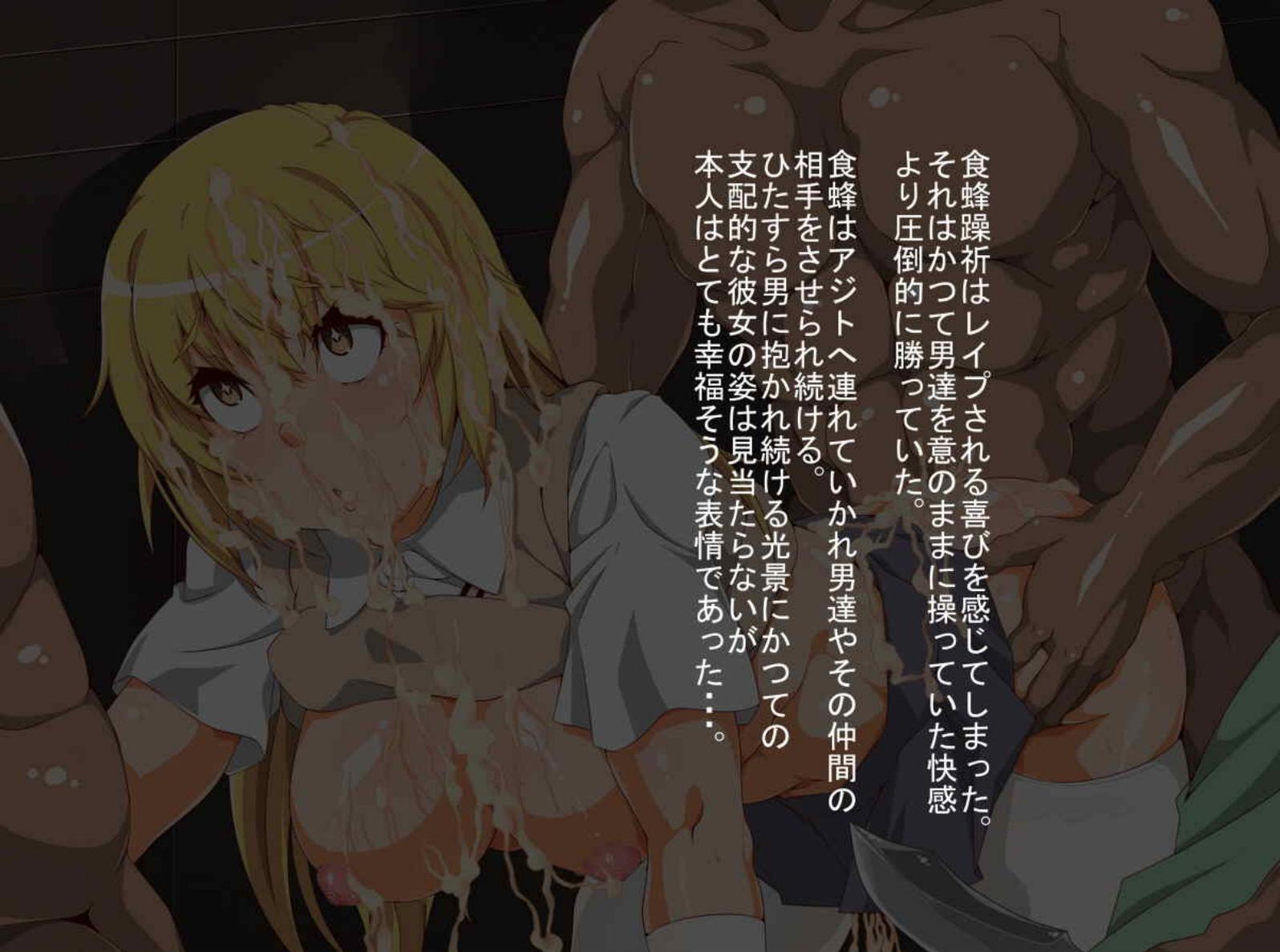
ううう…四発めっ!!  
でっ射精るうう!!  
おおおおお  
とまらねえええ…っ!

ドブッ  
ドブッ

ヒューツ!  
これで全員四回膣内射精  
決め込んだか?  
まだまだやりたりねえけど  
そろそろアジトに持って  
かえろうぜ  
横取りされてもつまんねえ  
しな

あへえ…♥あああ♥  
(もうだめえ♥レイプされるの  
きもちよすぎよお♥)

そうだなあ  
アジトで近所のやつにも  
貸し出して金とってても  
いいしな



食蜂操析はレイプされる喜びを感じてしまった。  
それはかつて男達を意のままに操っていた快感  
より圧倒的に勝っていた。

食蜂はアジトへ連れていかれ男達やその仲間の  
相手をさせられ続ける。  
ひたすら男に抱かれ続ける光景にかつての  
支配的な彼女の姿は見当たらないが  
本人はとても幸福そうな表情であった……。

□固法美偉□

固法美偉はジャツチメントの支部長と聞いていい地位にある。彼女は騒乱が起きてからは知り合いの風紀委員達と

避難施設に避難していた。

だが離れ離れの後輩たちと連絡を取り合うため

自分が所属していた177支部を訪れていた。

道中は比較的安全だと判断していたのだ。

しかしそれがいけなかった。

彼女が施設を一人で通っていたのは周辺の潜伏者たちに

目撃されてしまったのだ。

本来であれば彼女の透視能力で危険を察知できただろう。

だが彼女の能力もまた広域妨害装置によって使用不可能であった。

男達は瞬く間に支部へと侵入してきた。

あらかじめ鍵は壊されていた。

固法も多少の武術の心得はあるが三人の男達にはとても敵わない。

彼女は縛りあげられその豊かな乳房を露出させられ

ぎらつく欲望にさらされたのだった。

へへへ…  
やっぱり今日もここにきてたか  
デカ乳女…

は、放しなさい  
あなた達！

(ここ)は安全だと思っていたのに  
迂闊だったわ…  
注意して外出しているつもり  
だったのに

びくん

んん

ズィ

うるせえな…  
今時一人でこんなところ  
に来てるなんて  
お前レイプ志願者だろ  
ハハハ…

ぷん

おいこいつ見たことあるぜ  
たぶんジャッチメントだ  
噂の巨乳透視能力者だぜ

マジかこいつ風紀委員かよ  
だったら溜まった恨みつらみ  
このエロボディで  
晴らさなきやなあ！

やめなさ……んつぶう！  
（こいつら性欲しか頭がないわ……  
このまま続いたらどんな目に  
あうか……）

ゴッ

ゴッ

ズム

こんな巨乳は  
そうそうお目に  
かかれなからな  
まずはパイズリだな  
そらっ！

俺はこいつのロマンコを  
つかわせてもらうぜ！

おらっ！  
口使うんだよ  
殺されたくなかったら  
まじめに舌絡ませろ！

（今は生きて帰るためにも  
こいつらの言うことを  
聞いて従順に奉仕するしかないわ……）

おおっ……  
風紀委員を従順にさせて  
フェラチオさせてるのは  
股間にくるうう……  
……こりやもうもたねえな……

こいつのデカ乳  
ハリがあつてたまんねえ……

パンッ

ズル

ズル

パン

ジュル  
ジュル  
ジュル

ジュル

ああもう出そうだ！  
こいつの胸に  
ぶっかけてやるう！

ドビュルル

このムチムチの乳マンコに  
射精る！射精るう！！  
あああああ！

もう我慢の限界だ……  
おう……おう……おう……  
射精るそおお！  
飲め飲め！

んんんんんん！！  
(駄目っ……想像以上に量が……  
こんなの飲み込める訳が無い……)

ドビュルル



おおお……  
溜まってたぶんぶっかけて  
やったぜ……

(誰か助けに……  
このままじゃ私……)

グイッ

グキョ

グハッ

ドロッ

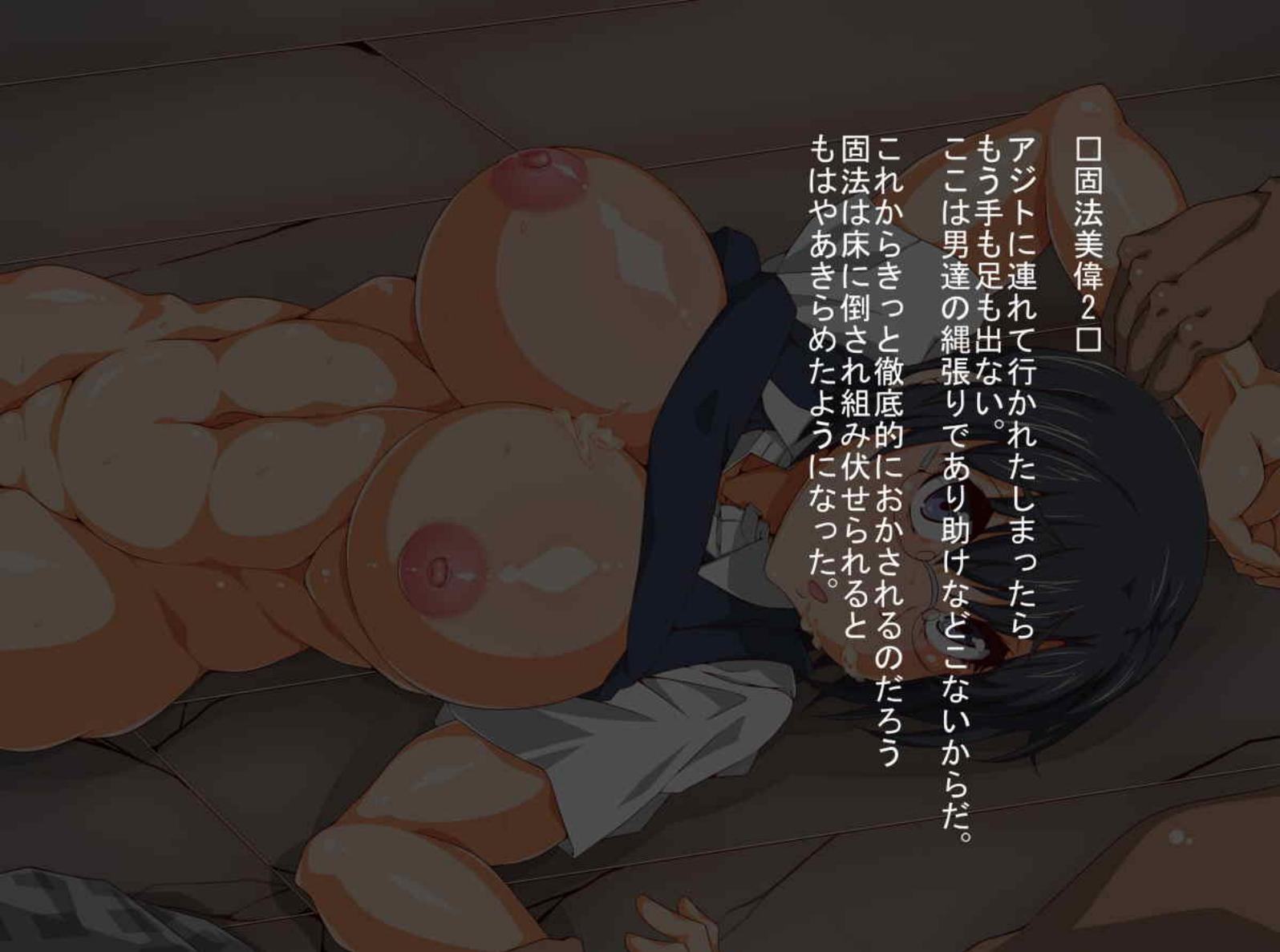
はあ……はあ  
出しまくった……  
だがまだヤリ足りねえ  
こいつアジトに連れて  
いこうぜ

ドロッ

そうだそのまま吸うんだ……  
デカ乳女……俺たちの肉便器に  
して孕ませてやるよ……



このあと固法は男達のアジトに連れて行かれた。  
彼女を助けるため後輩たちが支部へ駆けつけたが  
すでにものけのからであった。  
懸命な捜索が行われたが捜索する者たちも  
危険である、そのうち捜索は打ち切られ彼女は  
街の闇にきえていくのだった……。



□固法美偉2□

アジトに連れて行かれたしまったら  
もう手も足も出ない。  
ここは男達の縄張りであり助けなどこないからだ。  
これからきつと徹底的におかされるのだろう  
固法は床に倒され組み伏せられると  
もはやあきらめたようになった。

ここまできたら安全だ  
ここでならいくらでも  
犯し放題だぜ

(ああ…もう…  
こんなところに連れ込まれたら  
どうしようもない…  
抵抗するのは無駄ね…)

さっきは一発ずつ  
しか出せなかった  
からなあ  
今夜は何発でも  
廻せるなあ…

さっそくだが  
俺はやっぱこのデカ乳を  
使わせてえわ…先に  
やらせてもらうぜ!

胸犯してる見てると  
こっちもヤリたくなつて  
きちまうな  
へへへへ……

(勝手なことばかり  
私の胸はこいつらの  
性器じゃないのに……)

ぐうっ……  
やっぱこいつの胸  
半端ねえわ……  
そこの女のマンコと  
なんか比べもんにならねえ

ズレ

ズレ





ふいふい…  
射精した射精した…  
ヒヒヒ  
顔中ザーメンまみれに  
なっちゃったな

次は俺の番だ！  
ほらほら  
お待ちかねのセックスだぞお！

おおおおおっ！！！！  
無抵抗の癖に膣内の具合は  
最高だぞ！  
ズリズリ搾り取るエロい動き  
するなあ…

気持ちよすぎて  
腰がとまらねえよお！



おおおおおおおっ!!!  
イクぞおおお!  
射精る!風紀委員に  
屑の子種で孕ませ射精だ!  
うおおおおお!  
うううう...

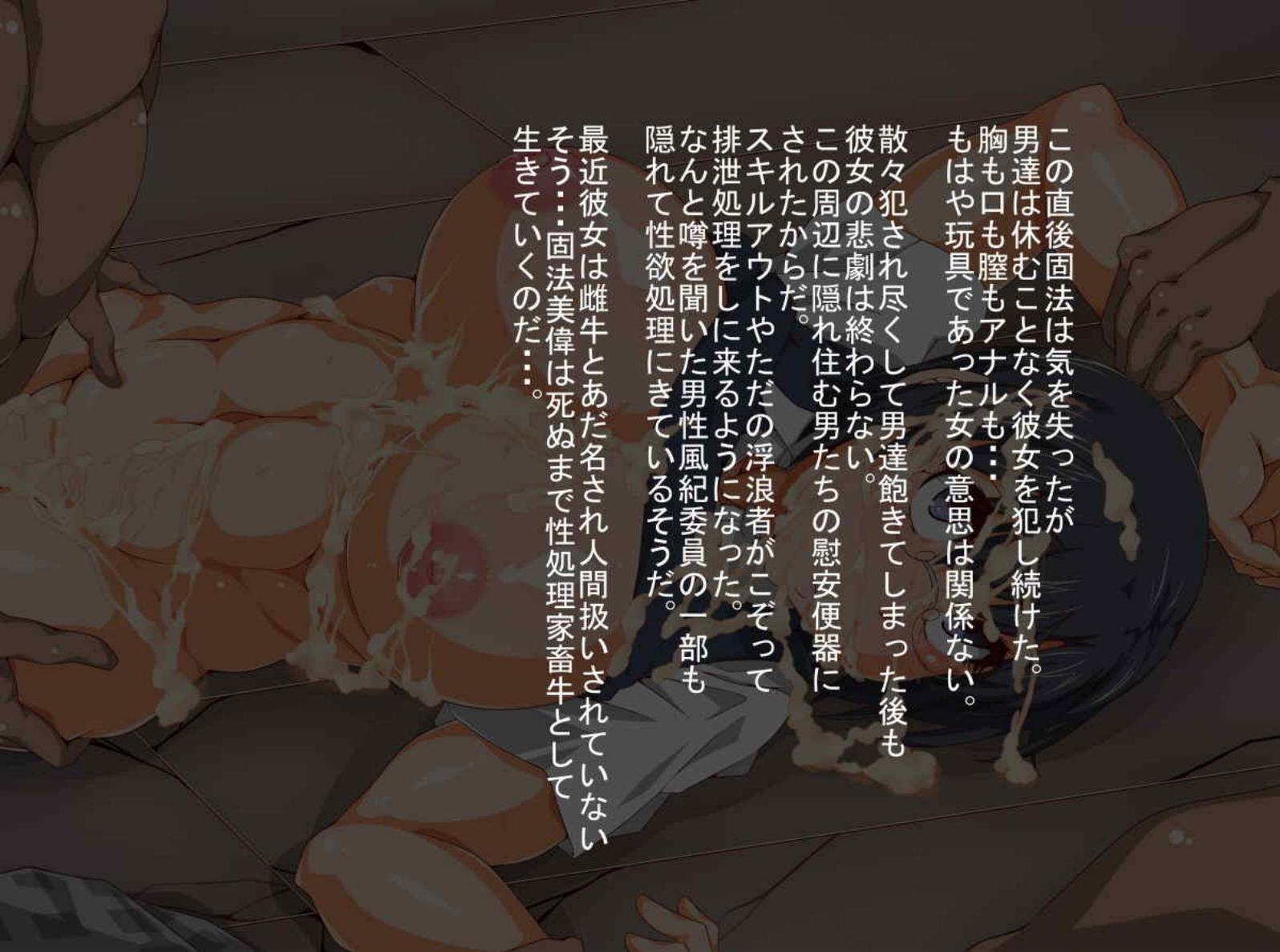
孕め!孕め!  
妊娠しろおお!

ゴ  
ビュウウ

ゴ  
アムン

「遂に膈内にも  
出されちゃった...  
私もう...」





この直後固法は気を失ったが  
男達は休むことなく彼女を犯し続けた。  
胸も口も膣もアナルも……  
もはや玩具であった女の意味は関係ない。

散々犯され尽くして男達飽きてしまった後も  
彼女の悲劇は終わらない。

この周辺に隠れ住む男たちの慰安便器に  
されたからだ。  
スキルアウトやただの浮浪者がこぞって  
排泄処理をしに来るようになった。  
なんと噂を聞いた男性風紀委員の一部も  
隠れて性欲処理にきているそうだ。

最近彼女は雌牛とあだ名され人間扱いされていない  
そう……固法美偉は死ぬまで性処理家畜牛として  
生きていくのだ……。

□佐天涙子□

それはまだ学園都市に騒乱が起きて間もないころ  
佐天涙子は友人達が避難している施設へ移動していた時のことであった。  
危険な表通りを避けよく利用する裏通りを抜ける最短ルートを進む。  
三十分たらずで目的地にたどり着けるはずだった。

だが彼女に不運が襲う。  
たまたま選んだ裏道では暴漢の男が通りがかる獲物に網を張っていた。  
涙子は元々無能力者であるし、護身術のようなものの心得もない。  
逃げ出すしかなかったが腰を抜かしてしまい簡単に捕まってしまう。  
男は涙子がかかりの美少女だとわかると舌なめずりして  
乱暴を働こうとしてきた。

普段であれば誰か仲間が助けてくれるはず……だが今そんな幸運は  
彼女に舞い降りてはこなかった……。

ヒヒヒ……  
お前なかなかの美形だな  
こりゃ楽しめそうだ……

分かってると思うが抵抗したりしたら  
ただじゃ済まさねえぞ

オロ……

ヒッ……はっはい……  
わかりましたっ！  
てっ抵抗しません  
（男の人に捕まっちゃった……  
皆とても助けに来てくれそうもないよね……）



こんな簡単に女が喰えるなんて最高だな

それじゃまず啜えてもらおうかつ！

口開けろっ！

いいな？歯あ立てたら殺すぞ！

ズ  
ズ  
ズ

ひゃっ！ひゃい！  
んっ！？じゅぽぽおぼっ！  
（うう…オチンチン啜えさせられるなんて  
やりたくないけど抵抗したら殺されちゃう…  
怖いよだれか…だれか助けて）

おおおおお  
いいぞちゃんと吸い付いてフェラしろ  
馬鹿なメスらしく男にご奉仕するんだ  
うおおうううう……

あと三十秒でいきたいからがんばれよ？  
イけなかつたらお前の責任だから罰を与えるからなあ

じゅろろろ!!

ヒイ!ヒイイツ!わひやりまひいた!!

んんっ……じゅろろろお!じゅぽっ!じゅろろろろろっ!!

(ひいひい!イかせられなかつたら絶対

殺すつもりだよ!!おっお願い早く!!

早く射精してえええ!!

おおおおあああああああ！  
射精る！射精る！射精るううう！  
飲み込め！吐いたりしたら殺すぞ！  
おおおまだ射精るう……

んんげええ……ううううう  
ゴキユツ！ゴクン……  
（うげええ……精液口の中にだされたあ！  
痛い痛い！？飲まなきやいけないの？  
やだあああああ！）

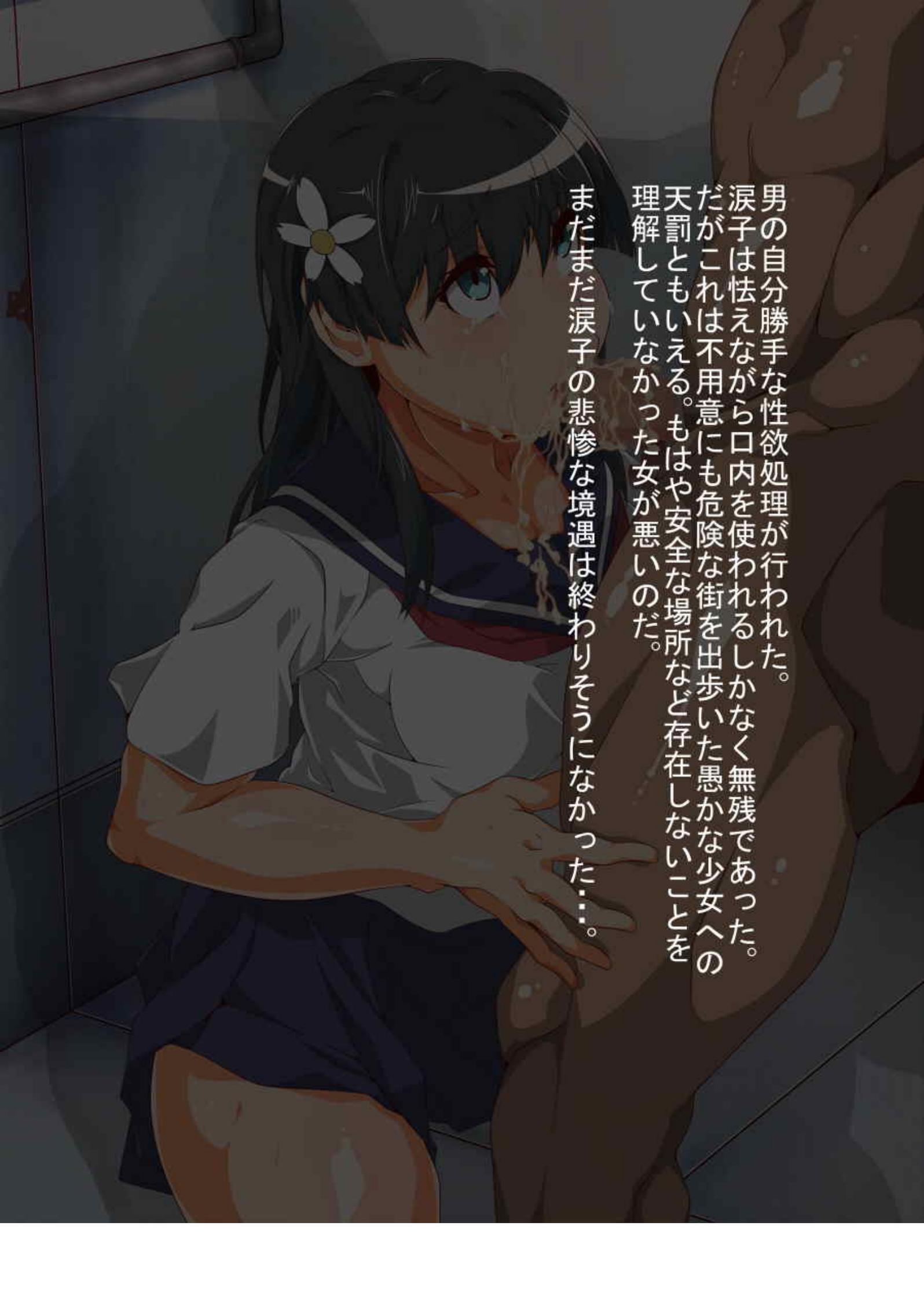
ドビュルル  
ドグ  
グク



ふうふう……で射精たあ……  
ヒヒヒ！良かったなあ？時間間に合って  
口の中のザーメンは全部飲み込めよ？  
そんじゃっ次はメインディッシュと  
いこうかな……

(ふうふう……くさい……気持ち悪い……  
嫌だよお……死にたくないよお……)





男の自分勝手な性欲処理が行われた。  
涙子は怯えながら口内を使われるしかなく無残であった。  
だがこれは不用意にも危険な街を出歩いた愚かな少女への  
天罰ともいえる。もはや安全な場所など存在しないことを  
理解していなかった女が悪いのだ。

まだまだ涙子の悲惨な境遇は終わりそうになかった……。



□佐天涙子2□

路地裏に少女の悲鳴が鳴り響く。

男は涙子の口を我が物顔で使い捨て今度は

無遠慮に膣を犯そうとしてきた。

何の力もない少女が抵抗などできるわけもない。

スカートをズリ落とされ、下着は破かれる

男が涙子の臀部にいきり立った肉棒を押し付けたとき

もう彼女の膜を守るものはなにもなかった……





オラッ！オラッ！！  
オラッ！オラッ！！！！  
いいぞおおおお！  
処女マンの癖にもう  
締め付けることを覚えて  
やがる！  
とんでもねえ雌豚マンコだあ！  
決めたぜえ！お前  
ぜってえ俺の物にしてやるかなあ！

やああ！やだああ！  
突くのやめてえ！  
初めてがレイプだなんてえ！  
こんなのやだよおおお！



締め付けてくるうううう!!  
うおおおおお!!  
射精るぞおおお!!  
孕め……っ! 孕めっ……!!  
俺の子種で孕めえええ……!!  
レイプされて孕んじまええ……!!

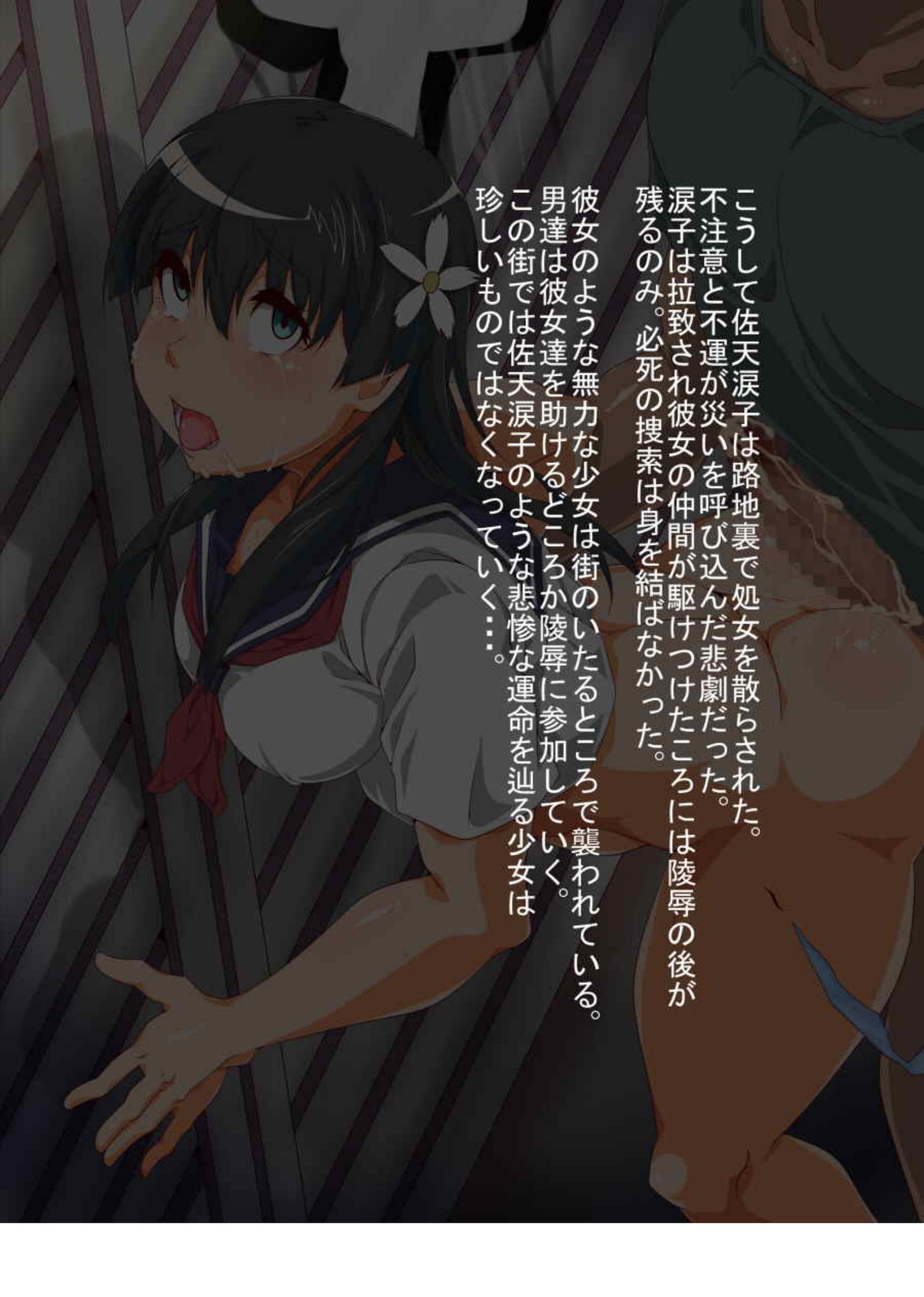
グロ  
ドク  
ドク  
ドク  
ドク

うそおおお……!!  
あああああ……!!  
膣内ですてるううう!!  
ありえないいいいい  
レイプされて膣内射精されてるううう……!!



ううう……ふうふう……  
射精しまくったぞお……  
■学生のロリマンコに  
腔内射精キメてやった……!  
お前はおれのもんだ……  
これから拉致って毎日毎日種付け  
かましてやるからなあ……!!

あうあああ……ああああ……  
やだあ……妊娠しちゃううう  
だれかああ助けて……  
御坂さん……白井さん……初春う……



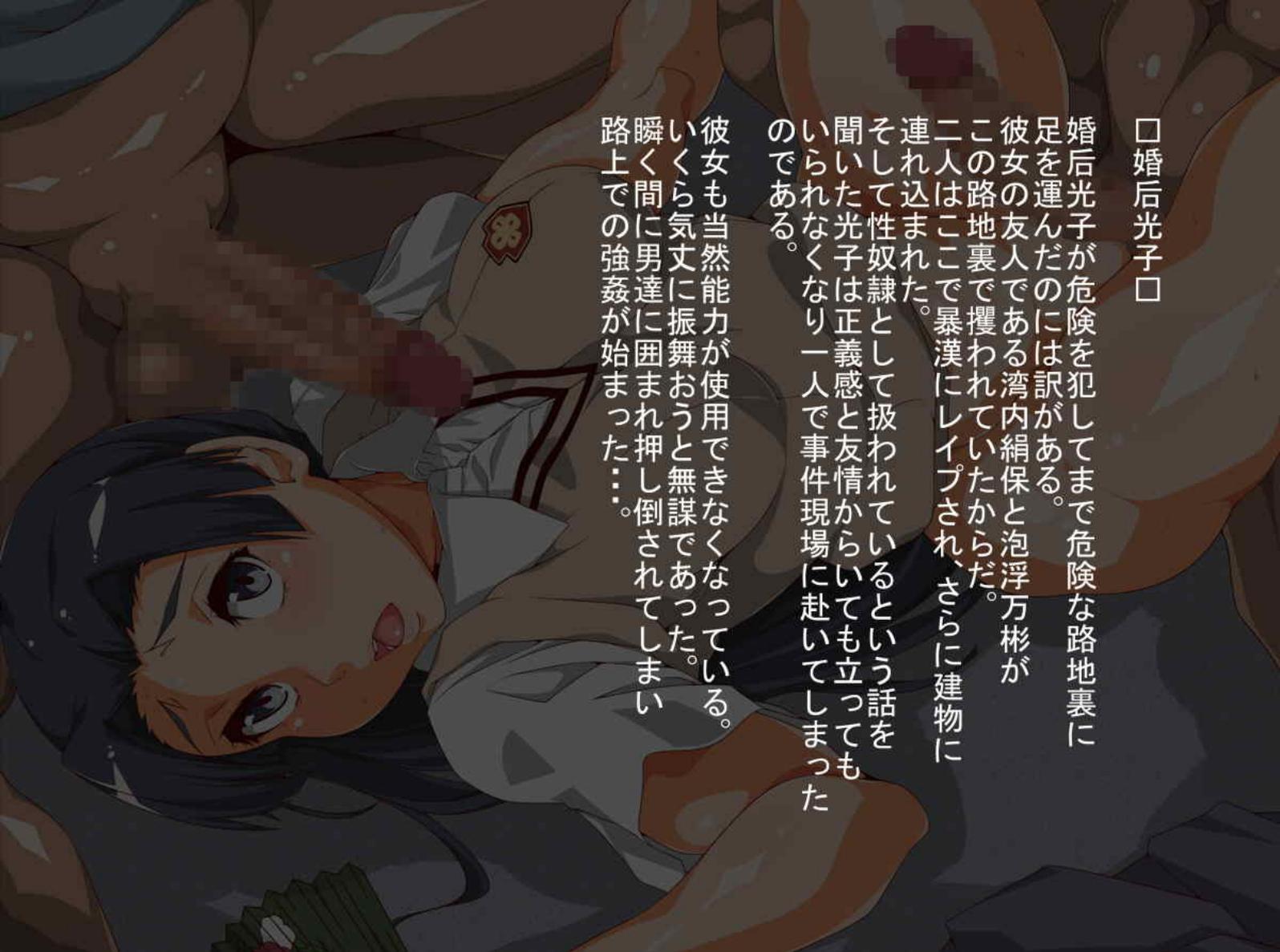
こうして佐天涙子は路地裏で処女を散らされた。  
不注意と不運が災いを呼び込んだ悲劇だった。  
涙子は拉致され彼女の仲間が駆けつけたところには陵辱の後が  
残るのみ。必死の搜索は身を結ばなかった。

彼女のような無力な少女は街のいたるところで襲われている。  
男達は彼女達を助けるどころか陵辱に参加していく。  
この街では佐天涙子のような悲惨な運命を辿る少女は  
珍しいものではなくなっていく…。

□ 婚后光子 □

婚后光子が危険を犯してまで危険な路地裏に足を運んだのには訳がある。彼女の友人である湾内絹保と泡浮万彬がこの路地裏で攫われていたからだ。二人はここで暴漢にレイプされ、さらに建物に連れ込まれた。そして性奴隷として扱われているという話を聞いた光子は正義感と友情からいても立ってもいられなくなり一人で事件現場に赴いてしまったのである。

彼女も当然能力が使用できなくなっている。いくくら気丈に振舞おうと無謀であった。瞬く間に男達に囲まれ押し倒されてしまい路上での強姦が始まった……。



最近じゃあこんな所に  
女が来てくれるなんてよお……  
しかもこんな極上のいい女が  
ありがとうございます！

ビキッ  
むちっ  
ビキッ

あなた達！  
それ以上わたくしに  
そのようなら汚らわしい物  
押し付けたら許しませんわ  
それから湾内さんと泡浮さん  
をご存知でしょう！  
早く二人を解放なさい！

なんだこいつ  
常盤台の制服みたいだが  
能力者かよ……  
今じゃ無能力者と変わら  
ねえの分かってない  
みたいだな……

（こんな下劣な殿方が  
存在するなんて……）

ゾクッ

むちっ



それじゃ早速……  
いただきます！

おお……おお！？  
こいつ処女かよ！大当たりだぜ  
処女マンレイプできるなんて  
最高……！！

ズブズブ

な……なにを……ま、まさか……  
あああつあああああ！  
痛いっ！痛いですわああ！  
やめ……やめてくださいまし  
わたくしの初めてがああ！

まじかる……  
有無言わず俺が  
ぶち込めばよかつたぜ……

（ひ、ひどい！こんな  
こんなことって……）



うお：こいつは…なかなか…  
ムチムチの肉が絡みついて  
結構な名器だなこいつわ…  
いい具合〜極楽極楽〜

やめ…動かないでえ…  
お願いしますわ…お願い  
ですわ…わたくし  
本当に痛いのですのよお…

あ、やべえな  
こいつの泣き顔見てたら  
興奮してきたわ…  
一発出しちまうか…



あ……もう駄目だ  
射精るう出るよおお！  
俺の孕ませ子種液  
出すよおおおおお！！

ちよっと！お待ちになつてっ！  
膣内にお出しなつたら  
わたくしや子があ！  
やや子ができてしまいわすわあ  
ああああああああああ！！  
いやああやや子はいやあああ！

あゝたまんねえよ  
上品な女のガ子悲鳴  
股間にくるわあ……



おおぅ：おおぅ  
しこたま出したわ  
極上処女マンコごちそうさま

こりや何回戦でも  
できそうだわ  
あの二匹と一緒に  
飼ってやるよ  
俺達の便所としてな

あ！射精る！  
射精うう！！  
あああ！最高の射精  
だあああ！

あ……ああ……ああ……  
あひ……あひ……





婚后光子は墮ちた。  
光子は能力者としてプライドの高かった。  
だがレイプされたことで自分がただの女でしか  
ないと自覚する。

路地裏では容赦ない陵辱が加えられ続け  
彼女はただ耐えることしかできなかったのだ。  
その姿はもはや強能力者などではない。  
ただのちっぽけな供え物であった。

その後彼女は湾内、泡浮と共に地下の  
娼館に送られる。  
安値で男達に抱かれ続ける人生が  
待っているのだろうか……。

□御坂美琴□

学園都市で御坂美琴の名前を知らないものは少ないだろう。絶対的な力を誇るレベル5の超能力者の一人、超電磁砲である。だが彼女には敵も少なくない。彼女に叩きのめされてきた不良たちはかなりおりその美貌ゆえ性的な感情を抱くものも多い。御坂が能力を失った今、彼女は貞操の危機にあった。

その日御坂美琴は友人達のため街に食料を探しに來ていた。風紀委員の白井黒子などは危険と忠告したが御坂は自分が能力を使えずともそれなりの格闘戦闘能力を有していると考えていた。それゆえ愚かにも護衛も付けず街に繰り出してしまったのだった。

街は彼女の考えているより遥かに危険であった。各所では食料の奪い合いで武器を使った強盗や殺し合いが横行し、女で犯されていないものは存在しないほど平然と強姦が多発する無法地帯であった。御坂は隠れて行動していたがやがて強盗集団と鉢合わせして見つかってしまう。貴重な女を楽しもうと無数の男達が彼女を捕らえようとする。さすがの身体能力で逃げ出すがとても避難施設まではたどりつけそうもない。やがて路地裏の行き止まりまで追い詰められると性欲に溢れた暴漢達が彼女に襲い掛かるのだった…。

ガッ

ハアツ…ハア…  
あんた達女の子相手にこんなに  
必死になって追いかけて  
情けなくないの…？

(街の治安は最悪だって  
聞いてたけどひどいものね  
まさか出会う男が皆  
女の子をレイプするしか  
頭はないなんて…)

へへへ…  
バカいまじゃこの街の女は  
男に犯されるしか能のない  
肉オナホなんだよ!  
お前も俺が犯し倒してやるから  
覚悟しろよな



ん……？  
おい！こいつ間違いない  
あの超電磁砲の御坂美琴だぜ！  
避難所に隠れてて手が出せない  
と思つてたが、こんなところにソコソコ  
現れてくれるなんて信じられねえ！

ヒッ！？嘘？  
なんなのよ！  
あんた達私までレイプ  
するつもりなの……  
やめなさいよっ！！

ポ

！？ホントだ！御坂美琴だ！  
マジかよ！俺はこいつをナンパして電撃で  
倒されてから無理矢理レイプしたくて  
しようがなかったんだ！  
我慢できねえ俺が一番に超電磁砲のロマンコ  
使わせてもらうぜ……



オラツア!!!  
御坂美琴のロマンコに  
挿入っ!!!

抵抗すんじゃねえぞ...  
もし噛みやがったら  
その顔が変形するまで  
殴り倒してやるからなあ

私に触れえ!? んぐう!  
ぐほああああああ!?  
んごほお!  
（こいつ私の口にこんな  
汚いものを!）

っおおお!?  
なんだこいつの口内は  
ピリピリと僅かに電流が流れてやがる!  
ぐっああああああ!!!  
き、気持ちよすぎる! これが電気能力者の  
フェラチオなのか!

ガ

ボン



すげえ……  
あの御坂美琴が手も足も出さず  
イラマチオされてるぜ……  
こんな無様なすがた見てたら  
バキバキに勃起してきちゃう……

おえっ！んぐっつ！！  
んぎゅっ！んぐっつ！！  
（い、息ができない……  
こんな道具みたくに……  
扱われるなんて……）

ああっ！気持ちいい！！  
気持ちよすぎるぞお！！御坂美琴！  
喉の奥まで無理矢理ぶち込むのが  
たまらねえ！おらああああ！

ズポ

ズガ  
ズガ  
ズガ



ああっ……もう堪えきれねえ……  
俺の子種液ぶちまけてやる……  
うおおおおおおお！  
射精るぞ！射精るぞおお！

んぐっ？！うげえ！  
んぐううううううう！

(……無理！無理無理！)

こんなもの飲み込める訳  
ないでしょ！

でも嫌でも飲み込まされちゃう  
嫌あああああ！

ドク

ゴク

どひん

あああああああ……！！  
でる！射精る射精る！  
気持ちいいいいいい！！  
飲み込め！俺の精液飲み込むんだあああ……！！

す、すげえ…：  
御坂美琴の顔がめちやくちやだ…：  
精液でドロドロになってやがる  
どんだけ出したんだ…：

ゴホッ…うげえ…：  
ううう…：

（飲んじやった…こいつらの  
汚い精液飲み込んだ…）  
しかもこいつら次は私の  
初めてまで狙っているの？  
こんなゲスどもにレイプされて  
処女を失うなんて絶対嫌よ！）

はあ…はあはあ…：  
とんでもねえほど射精しちゃった…：  
それにたらふく俺の子種飲み込ませて  
やったぞ…：  
だがまだ終わりじゃねえ  
次はマンコだ…お前を孕ませるまで  
種付けを繰り返してやるからなあ



御坂美琴は口を汚された。  
しかしそれで終わりな訳がない。  
男達は誰一人として満足などして  
いないのだから。  
彼女はこのまま犯される運命なのだ  
正義のヒーローが助けに来てくれるなど決して  
ありえないことだった……。

□御坂美琴2□

御坂美琴は口を犯された後そのまま路地裏で男達に組み伏せられた。彼女もなにをされるかわかったが数人がかりで押さえつけられればどうしようもなかった。

御坂美琴には好きな男がいる。ツンツン頭の青年だ。美琴は彼に自分処女を捧げられればと考えていた。だがその夢は叶いそうもない。こんな薄汚い路地裏で薄汚れた見ず知らずの男達に無理矢理大切なヴァージンを奪われるのだ。あまりに非情な運命であった……。

オラッあばれるんじゃねえ！  
もう諦める！逃げられるわけ  
ねえだろうが！

ふざけないで！  
私だけとえレイプされても  
諦めない！あんたたちは  
必ず黒こげにして殺して  
やるんだから！！

もう無理だ！我慢できねえ！  
次は俺の番だ…御坂美琴の  
マンコ…超電磁砲マンコ  
ぶち犯してやる！

すげえ…  
御坂美琴を犯せるんだ…  
とっつと腔内射精して  
かわってくれよ！

ビッキン

ビッキン



それ！やっちまえ  
生意気マンコにぶち込んじまえ！

い、痛っだあああああ！！  
痛い痛い！抜けええ！  
抜きなさいよこの屑ううう！！

！ ？

ツラアアアア！！  
挿入ううううう！！

こいつ処女だあ！  
俺は御坂美琴の初めてを  
奪ってやったんだっ！！  
ざまあみろ電撃娘  
てめえは俺みたい凡人  
にレイプされて孕ませ  
られるんだ！オラアア！

330%  
4  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ



こいつ処女だったのかよ  
うらやましいぜ……  
処女のしまりは格別だからなあ

いだいっ！痛いいいい！  
私の膣を突かないでえい！

！？中で大きくなって……  
ちよつと！膣内でだしたら  
許さないわよ！聞いているの！？

ああっ！いいぞ  
膣の肉が絡みついてくる！  
もう具合が良くなつた……  
こいつとんでもねえ名器だ  
こりゃ種付けしちまうのは  
避けようがねえなあ！

ズ  
グ  
グ



いつ嫌っ！嫌あああああ！！  
こいつ私に膣内射精してるっ！！  
やめてええええ！射精すの  
今すぐやめてええええええ！！！！

うるせえええ！  
今から膣内射精してやるんだ！  
あああ！でるぞ！射精る！  
でっ射精るうううううう！！  
ああああああ！！

ああつとまらねえええ！  
種付け！とまらねえええ！！  
孕めっ！孕めっ！！  
御坂美琴孕めええええ！！

ドビュル

ルルル

ドッ



やべえ……  
マジで種付けしちまったのか……  
あの超電磁砲に腔内射精……  
夢じゃねえだろうなあ……

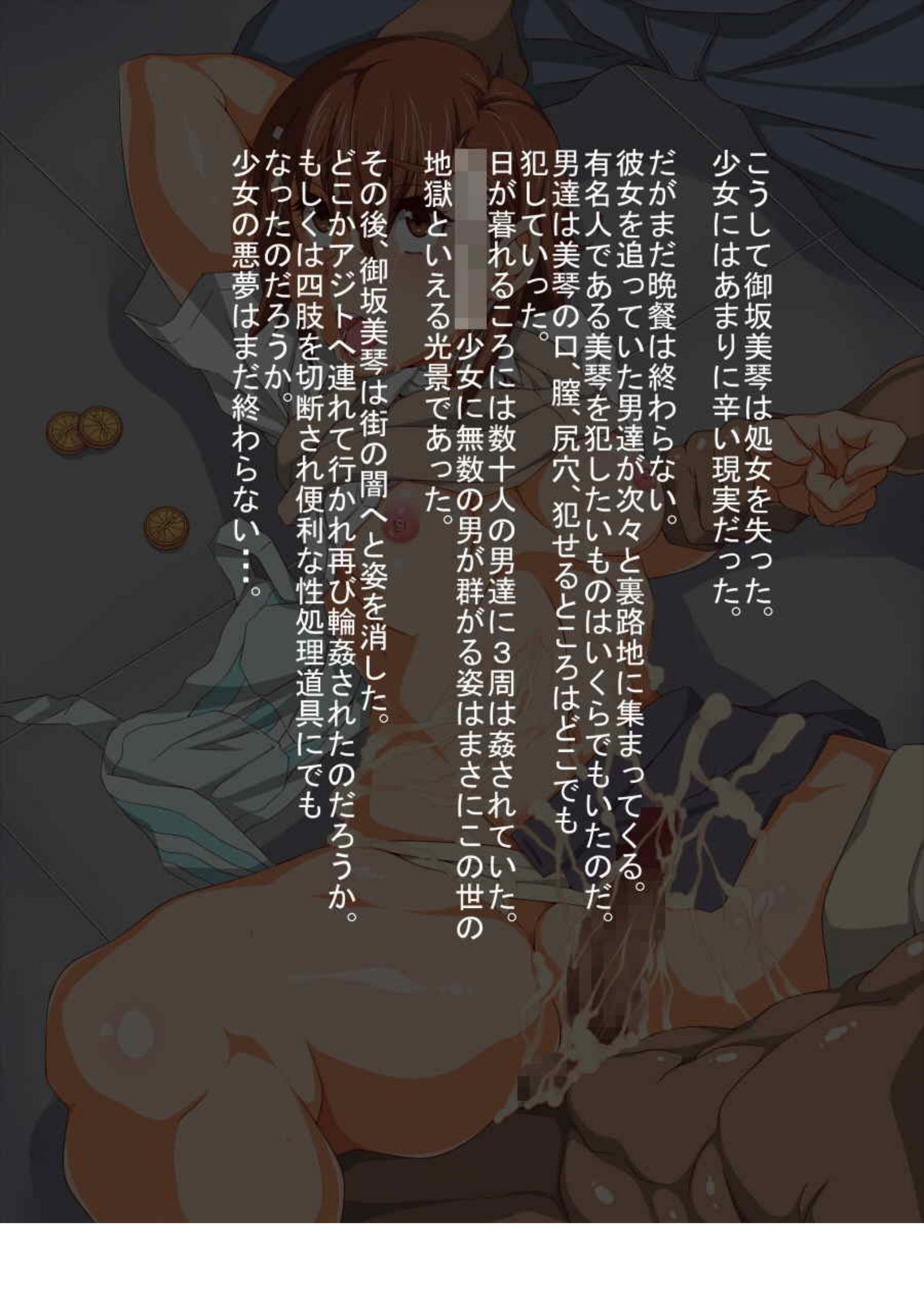
ああ……あう……あああ……  
(腔内に射精された……)  
ありえない……私がこんな  
屑どもに……嘘よ！  
こんなの悪い夢よ……)

はあ……はあ……ふう……  
射精してやったぜ  
こりやぜってえ妊娠しちまうな  
ざまあねえぜ  
ハハハハハハハハ！  
アピュ

おっおい！  
出したら早く代わってくれよ！  
俺もさつきからこいつに生ハメ  
したくてたまらねえんだよ……  
うう……早くヤリてえ……



アピュ



こうして御坂美琴は処女を失った。  
少女にはあまりに辛い現実だった。

だがまだ晚餐は終わらない。  
彼女を追っていた男達が次々と裏路地に集まってくる。  
有名人である美琴を犯したいものはいくらでもいたのだ。  
男達は美琴の口、膣、尻穴、犯せるところはどこでも  
犯していった。

日が暮れるころには数十人の男達に3周は姦されていた。  
少女に無数の男が群がる姿はまさにこの世の  
地獄といえる光景であった。

その後、御坂美琴は街の闇へと姿を消した。  
どこかアジトへ連れて行かれ再び輪姦されたのだろうか。  
もしくは四肢を切断され便利な性処理道具にでも  
なったのだろうか。  
少女の悪夢はまだ終わらない……。

□御坂妹□

御坂美琴そっくりの少女。

彼女達は妹達と呼ばれる人造人間……

つまり御坂美琴の体細胞を使用したクローン体である。

彼女達は軍用のため造られ、ある実験にも利用され

その実験が中断されると学園都市内外にてさまざまな活動をおこなっていた。レベル3相当の能力が役に立ったのだ。

しかし無能力者の反乱が起きると状況が一変する。

彼女の利用価値がなくなったのだ。

能力も使えなければ、他のクローン体との通信能力もできなくなった

ただの少女に使い道などなかった。

いやひとつだけあった……

彼女達は各研究所にてメンテナンスのため隔離されていた。

都市外に脱出できず避難している研究員達と一緒に。

暴徒にいつ襲われるかわからない事からくるストレス、崩壊する倫理観。

女の研究員は少なくレイプできる数など限られている。

こうして御坂妹達は性処理道具として使用されていくのだった……

はあああ……  
ずっと君の唇を  
僕のチンコで埋めたかったんだ……  
もっとはやく君を使えばよかった  
14256号

確かにこいつを使えば  
みんなであんな散々姦してユルユルな女研究員ども  
なんて使わずに済むなあ  
名案だ！

この状況からあなた達は  
ミサカに性欲処理を行わせる  
つもりだと推察します



じゃあ早速フェラチオを  
してもらおうよ！  
14256号啜えてくれ！

ああっ…先を越されたか  
まあいい14256号  
インプットした高級娼婦の  
フェラチオデータを行うんだ

ズポ

はい了解しましたと  
ミサカはりよグポオ  
(まったく…了解の合図ぐらい  
させてほしいとミサカは  
憤慨します)



ううっ!  
もう駄目だあ!  
射精する! クローンの  
ロマンコに射精すよおおお!

ええい! 無駄うちになるが  
俺も我慢できん!  
こいつの顔にぶっかけてやる!  
ほらっ射精るぞ! 受け止める!

ビュ

ゴッ

グビュッ ドビュル

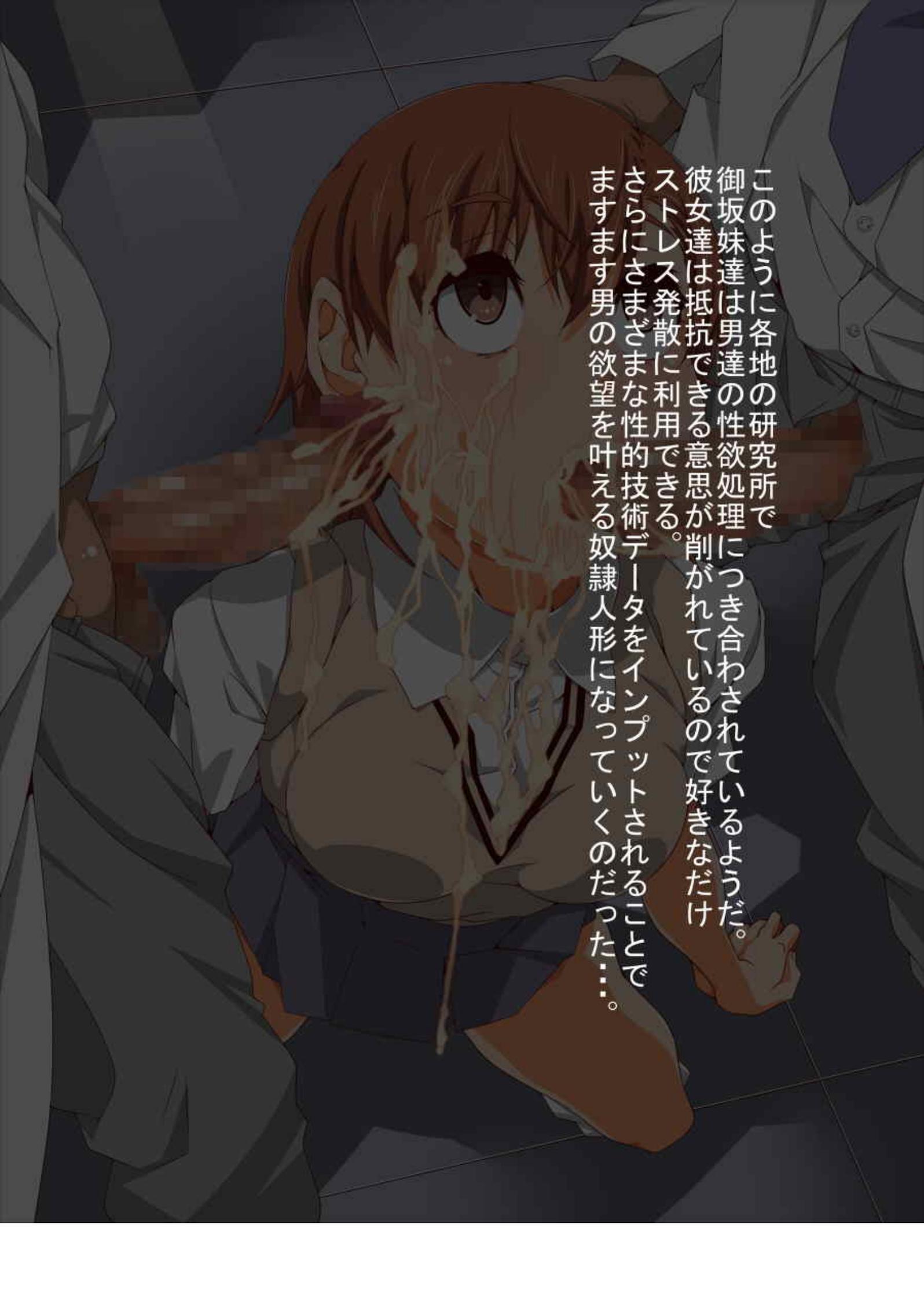
(口内に尋常ではない量の  
ザーメンが流れこんでますが  
努力して受け止めると  
ミサカは健気に行動します)

ああ……いっぱい射精たあ……  
ああそうっそのまま  
吸い上げて飲み込んでね

ふう……無駄うちしてしまっただが  
精液増産剤を打ってあるからな  
まだまだいくらでも楽しんでやるぞ

(ようやく射精が終わりましたが  
まだまだ陵辱が続きそうだと  
ミサカは悲痛に暮れます……)





このように各地の研究所で御坂妹達は男達の性欲処理につき合わされてきているようだ。彼女達は抵抗できる意思が削がれているので好きなだけストレス発散に利用できる。さらにさまざまな性的技術データをインプットされることでもますます男の欲望を叶える奴隷人形になっていくのだった……。

□御坂妹2□

あれからますます御坂妹は性処理道具として利用されていた。取っ替え引っ換えで変態研究者たちが無抵抗な彼女達を利用して性欲処理をおこなっている。研究者達は自らの身も省みず危険な性欲剤を大量に投与して自滅的な乱交に及んでいるのだ。御坂妹達はただ彼らに使われ続けるしかなかったのだ……。

かれこれ半日以上  
17822号を犯し続けていましたが  
ようやく私の番ですか……  
とミサカはやや期待して受け入れます

ふうふううう……  
つつ次はお前だ！  
このロリ穴に決めた  
まだまだ勃起は収まらないんだ  
もつと気持ちよくなってるやる！

まったく  
こいつらは微妙にマンコの具合が  
違うから比べるのが楽しくて  
ハマつづけてしまうな！



んんっ……  
きました男性器の挿入を確認  
しました……

他の固体との違いを  
ほめられてミサカは  
やや喜ばしく感じます

いっ挿入れるぞお！  
おっおお……  
こいつのマン穴は  
さっきのより締りが  
いいじゃないか！

くううう……  
たったまらんな  
少女のマンコを味わうのは  
やみつきになる！  
学生ぐらいの

ズ  
パイ  
パイ  
アハハ

この男性の必死なピストンに  
ミサカのヴァギナも  
喜んでしまいます…

んっんっんっ

ああああ!!  
たまらん!少女マンコ  
たまらんぞお!  
精液好きそうに子宮が  
吸い付いてくるわあ!

ズンズン

ズンズン

うううううううう…  
さっき射精したばかり  
なのにもう堪えきれなく  
なっってきてしまったあ!

この感覚は何回受けても  
慣れません……と  
大量の射精にミサカは  
やや不快感を示します……っん……

あああああああ……!!  
でっ射精るう……!!  
射精る射精るぞおおお  
おおおおおお……!!

止まらないっ……  
まだ射精るでるっ……  
おおおお……

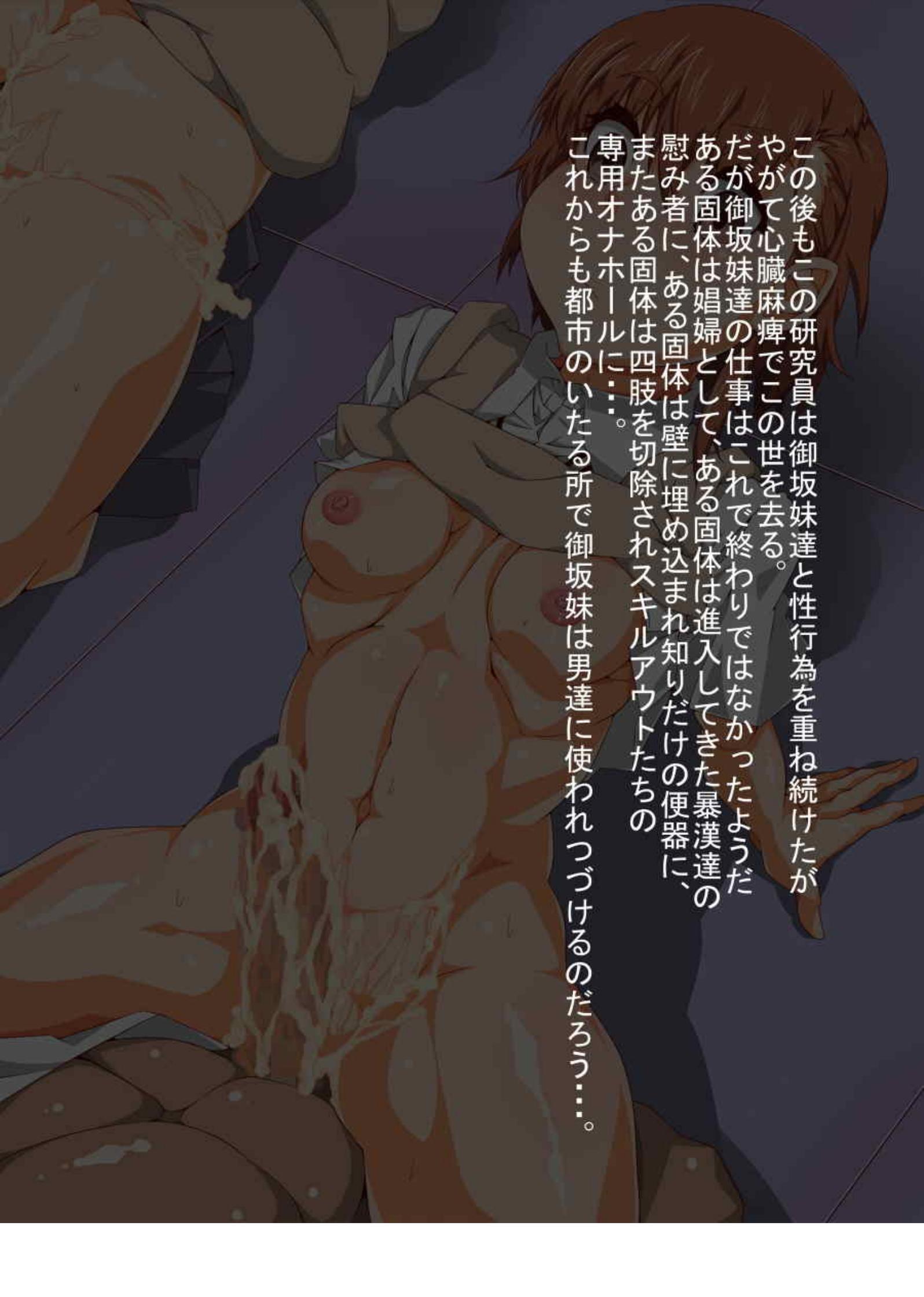


これだけ大量のザーメン  
クローインのミサカでも  
妊娠する可能性を考慮にいれなければと  
ミサカはやや不安に駆られます……

うう……はあはあ……  
でっ射精たぞお  
ロリ穴に腔内射精  
気持ちよかったあ……

だっだが……まだやり足りない……  
もう一本精力剤注射をうって  
また挿入するか……





この後もこの研究員は御坂妹達と性行為を重ね続けたが  
やがて心臓麻痺でこの世を去る。  
だが御坂妹達の仕事はこれで終わりではなかったようだ  
ある固体は娼婦として、ある固体は進入してきた暴漢達の  
慰み者に、ある固体は壁に埋め込まれ知りだけの便器に、  
またある固体は四肢を切除されスキルアウトたちの  
専用オナホールに……。  
これからも都市のいたる所で御坂妹は男達に使われつつけるのだろう……。

□白井黒子□

白井黒子はジャッチメントであり学園都市での  
反乱勃発後も一隊員として活動を続けていた。  
その日も複数人の部隊で街の治安活動に  
赴いており、危険ではあったがなんとか成果を  
あげることになった。

しかしとあるビルに囲まれた危険エリアに  
入ったとき突然奇襲を受けてしまう。

なんと一帯は黒子たちも危険視するスキルアウト  
の集団が縄張りとする場所だったのだ。

混乱による情報不足かさほど警戒していなかった  
一行は瞬く間に倒されていく。警戒していなかった  
訓練を受けているとはいえ能力が使えなければ  
数に劣る黒子たちに勝ち目はない。  
撤退しようにもすでに囲まれており次々に隊員は  
倒れていった。

男の隊員は明らかに致命傷を負って打ち捨てられ  
女の隊員はその場で押し倒され陵辱されていく。  
周りに悲鳴が響く中、黒子も壁に押し付けられ  
犯されようとしていた……。

ぐっ！はっはなしなきいな  
こんなことをしてただでは  
すまさないですのよっ！  
（皆さん倒されてこの黒子まで  
なんとか…なんとかしなければ  
なりませんの…）

いやあああー  
犯さないでえ  
やあああああ

おとなー

へへへっ…  
てこずらせやがって  
さっさとやらせろっつーの！  
さっきもらったキツクの分  
テメーのマンコにぶち込んでやるからなあ！  
覚悟しろよ糞風紀委員がっ！

グイッ







痛いだあ？  
知るかバカッ！！  
てめえら風紀委員に容赦  
なんかする訳ねえだろうが！  
ああ、気持ちいいぜえ！  
むかつく女の悲鳴聞きながら  
レイプするのはよおお！

パン  
パン  
パン

あああああああ！  
痛いつ！いだいっですのお！  
ぬっ抜いてくださいましっ！  
黒子のあそこが裂けて  
しましますのっ！！



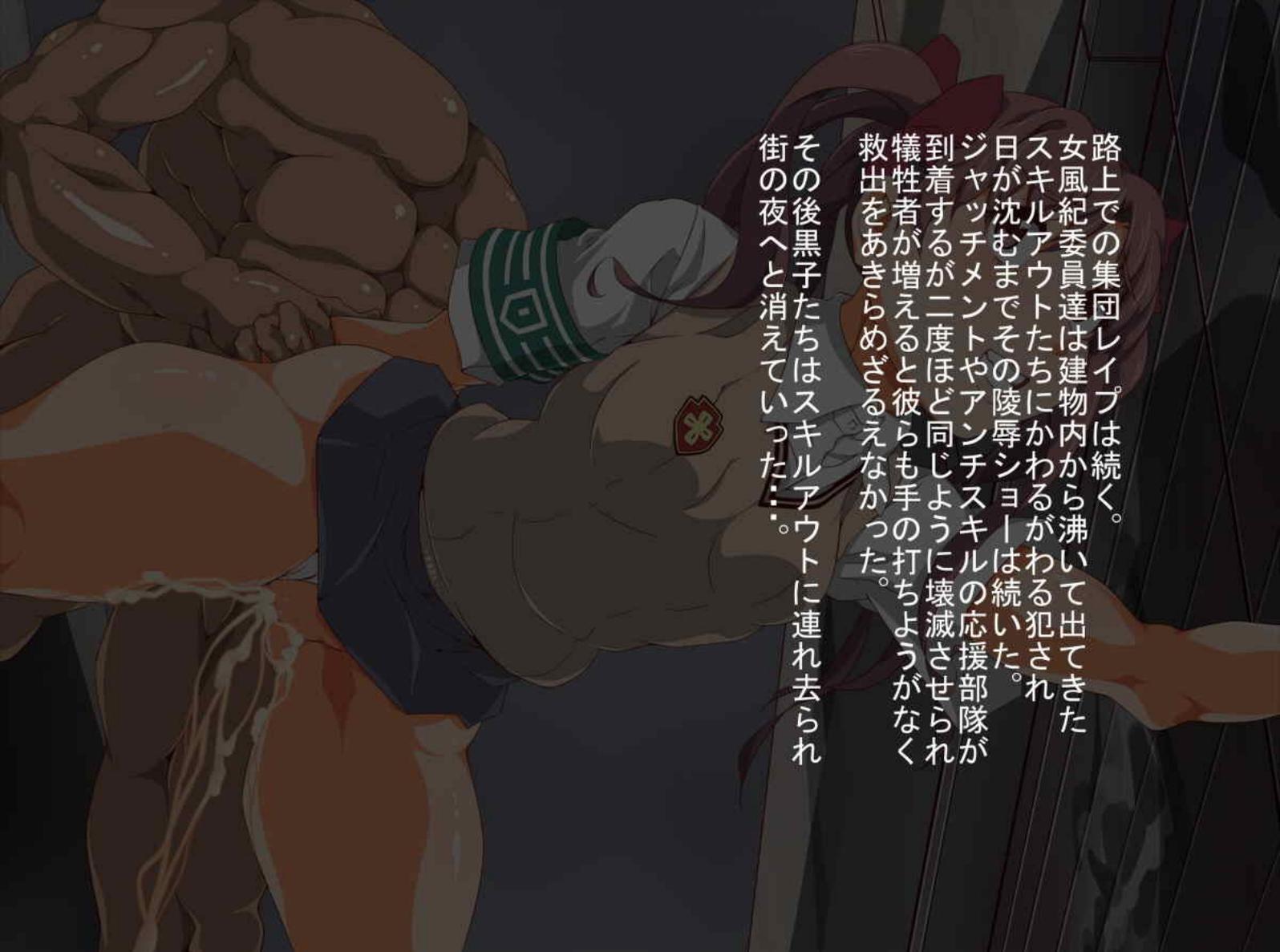


ふうう…ああ…  
射精たぜええ…  
ムカツク女だがマンコの  
具合は悪くねえな  
まあお前もこのまま俺達の  
精液便所にしてやるから  
覚悟しとけっ!

こっ…この辱…  
わたくしはこんな辱め  
程度では屈しませんの…  
必ず復讐させて頂きますのっ!

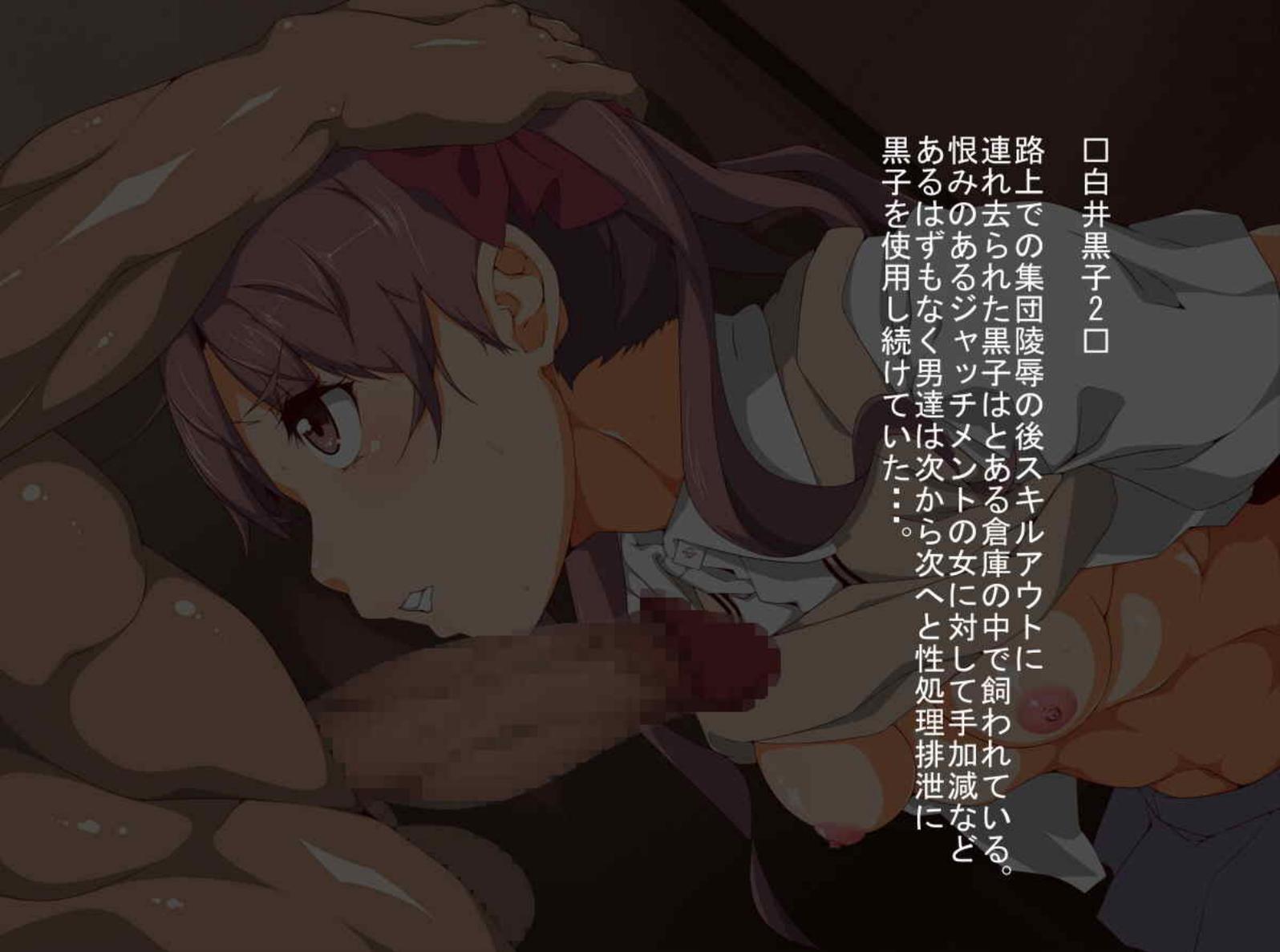
ポッ

ポッ  
ポッ



路上での集団レイプは続く。  
女風紀委員達は建物内から沸いて出てきた  
スキルアウトたちにかわるがわる犯され  
日が沈むまでその陵辱シヨ―は続いた。  
ジャッチメントやアンチスキルの応援部隊が  
到着するが二度ほど同じように壊滅させられ  
犠牲者が増えると彼らも手の打ちようがなく  
救出をあきらめざるえなかった。

その後黒子たちはスキルアウトに連れ去られ  
街の夜へと消えていった……。



□白井黒子2□

路上での集団陵辱の後スキルアウトに連れ去られた黒子とはある倉庫の中で飼われている。恨みのあるジャッチメントの女に対して手加減などあるはずもなく男達は次から次へと性処理排泄に黒子を使用し続けていた……。

くっ……んどはこんなものを  
啜えるなんて何を考えてるんですの!?  
(口の中に入れたら噛み切って  
さしあげますの……!)

ボロッ

へへへっ……  
そろそろマンコばかり使うのにも  
飽きてきたんでなあ……  
それからもし歯でも立てたらお前の仲間を  
一人バラしてやるから覚えとけよ……





ぐっ……ぐえっ……  
んんんんんんんん！  
（わたくしがこれを噛んだら  
他の皆さんが……  
我慢するしかないんですの……）

おらっ！  
きつきついが喉奥までっ！  
おらあっあああ……

グッ  
グッ  
グッ

ぐりぐり

えこっ……ぐえっ……  
んん……んん……んぐう……  
わ……わたくしの口を  
まるで……せっ性器のように……  
こんなの息が……息が続きませんの……

ふんっ！ふんっ！ふんっ！……  
なかなかお前のロマンコ具合がいいぞお！  
喉がキュンキュン締め付けてきやがるっ！

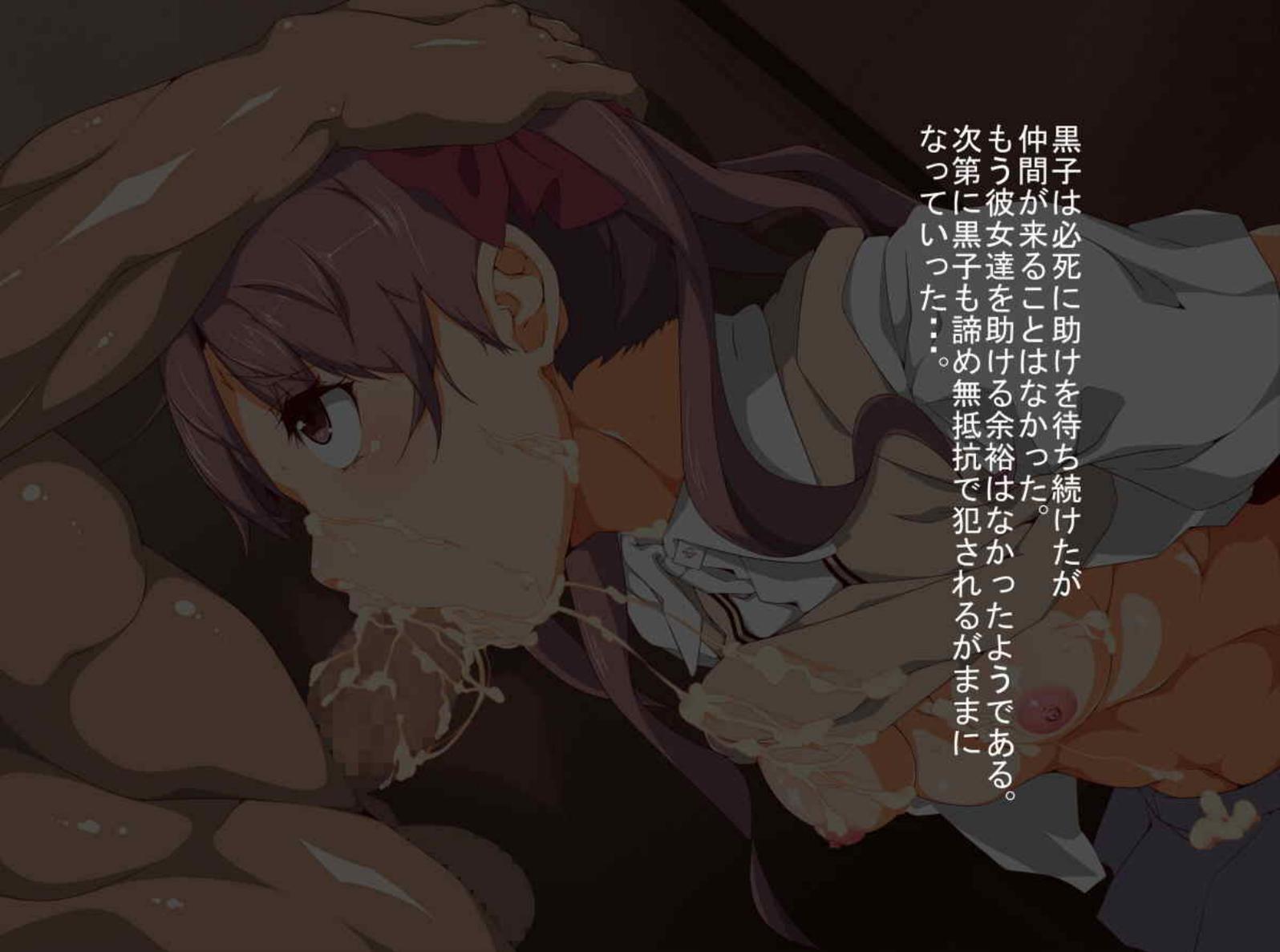






んんっ……んんっ……ゴクッゴクンッ……  
んふう……んふう……  
(のっ飲んでしまいましたの……  
気持ち悪いですの……  
いつまで……いつまでこんなことが  
続くんですの……?)

おおお……ふうふう……  
射精た射精たあ……  
ヒヒヒ……次はなにしようかなあ……



黒子は必死に助けを待ち続けたが  
仲間が来ることはなかった。  
もう彼女達を助ける余裕はなかったようである。  
次第に黒子も諦め無抵抗で犯されるがままに  
なっていた……。

## □鉄装綴里□

鉄装綴里の前から黄泉川愛穂が姿を消して数週間が経つ。黄泉川は例の避難民支援会場公開集団レイプ事件に遭遇しスキルアウトたちに拉致され今も行方不明である。

綴里にとって黄泉川は頼れる先輩であり、とても親しい教師仲間でもあった。

もう一人の教師仲間である月詠小萌の請いもあって綴里はたった一人で危険な捜索を続けていた。もはやアンチスキルの部隊員数は激減しており彼女に同伴して捜索に当たる余裕はなかったのだ。

綴里も十分警戒していたし、もはや自分達が弱小勢力に過ぎないことも理解してから捜索は慎重であった。だがやはり一人での行動は無謀すぎた……。

有力な情報のあったとある施設内に進入し周辺を警戒していたところ、急に電気が落ちる。

待ち伏せであった。情報に残り数少ないアンチスキルをおびき出すための狡猾な罠であった。

綴里が一人でしかも若い女であると分かれば男達はすぐに襲い掛かってくる。もう彼女にできることはなにもなかった……。

オラッオラッ!  
殺されなくなったら  
もっとマンコ締め付ける  
間抜けアンチスキル!

ブユブユ

んぶお!んんうん!  
ジュポッ!じゆる...  
こっちも...やっちゃった  
待ち伏せに合うなんて  
あんなに警戒してたのに...

こっちもだ!  
気抜くんじゃねえぞ  
ちゃんと吸い上げるんだよ!

ブユ

あ

あ

あ



ホントに馬鹿な女だな  
お仲間のデカ乳女の  
情報流したらコロツと  
騙されて出てきやがって  
あの女なら今もアジト  
で休むまもなく犯され  
続けてるっつーの！

（そんな…黄泉川先輩…  
やっぱり今もまだ辱めを…  
ごめんなさい私も捕まって  
しまいました…）

こいつもなかなか  
いい女だからな  
備え付けの便器くらいには  
なるだろうよ！

っさあ…そろそろ  
込み上げてきやがったぜ…



うおおお…  
こっちもそろそろ…  
うぐうおおお…

おおおおっ！うぐう  
でっ射精るううお！  
おおおおお！  
射精るう！

ん「おおお…んばあっ！  
（口の中に精液出されてる！  
イヤア…でも耐えななきゃ  
殺される…）」

フビ

ドドブルルル



あああああああああああ！  
射精る！射精る！  
射精るううううううう！  
俺の一番搾りいいい！

んんんうううううう！  
(腔内ー！？腔内に  
出されちゃってるうう！  
この人たち何の遠慮もなしに  
腔内射精しちゃうのおお！？)

うぐうう……  
……そうだ飲み込め……  
胃の中でも俺のザーメン  
味わうんだ……



ふうふう……  
気持ちよかったぜ……  
やっぱアンチスキルはクソ共  
をレイプするのは格別だな！

(黄泉川先生……月詠先生……  
ごめんなさい……私チンポに  
負けちゃいました……)

こいつもこのまま  
持ち帰って穴奴隷するか……  
もしくは囿に使って  
馬鹿どもをおびき出すか……





鉄装綴里もまた行方不明となった。  
後日集団暴行映像がアンチスキル本部に届けられる。  
映像は凄惨なもので延々と数十人の男達に犯され続けゴミのような扱いを受ける綴里の姿や、いままで捕まった黄泉川たち女隊員たちの現在の悲惨な姿などが映されものなどだった。それは残る僅かな反抗勢力の士気をさらに下げるのに十分であった……。

□布束砥信□

布束砥信は研究機関の避難シェルターに身を隠していた。そこは普通の避難所に比べて物資も貯蔵量が多いし避難している者も研究者だけのため人数が少なく余裕があった。だが時間が経つと隔離され避難を続ける者たちのこころは余裕がなくなっていく。次第にシェルター内では治安が崩れだし暴行事件が起きたり数少ない女研究者達が襲われるようになった。

そして布束も例外ではない。彼女も一人個室で研究作業をしていたところを襲われる事となる……。

I see  
そういうこと……  
私に性的欲情を抱いたという……

はあっ……はあっ……  
布束君っ……  
君のこのお尻はたまらないよ！  
たとえ犯罪でも君を犯すっ！



Such a thing  
勝手に挿入するなど……  
身勝手な……

うう……挿入れるよお……  
そらあつ!

スト

ホィ  
ホィ

グィ

SSS

somehow  
だいぶ慣れてきた…  
さっさと済ませてほしい…  
but  
腔内への射精は許可しかねる…

うう…はあ…はあ…  
女の子の膣がこんなに  
気持ちいいなんて予想外  
だったよ…  
あああ！布束君たまらないよっ

パッ  
パッ  
ズ  
ズ

not believed!  
ありえないっ……!!  
膈内に射精するなどっ……!!  
weeー  
早くペニスを外に……っ!!

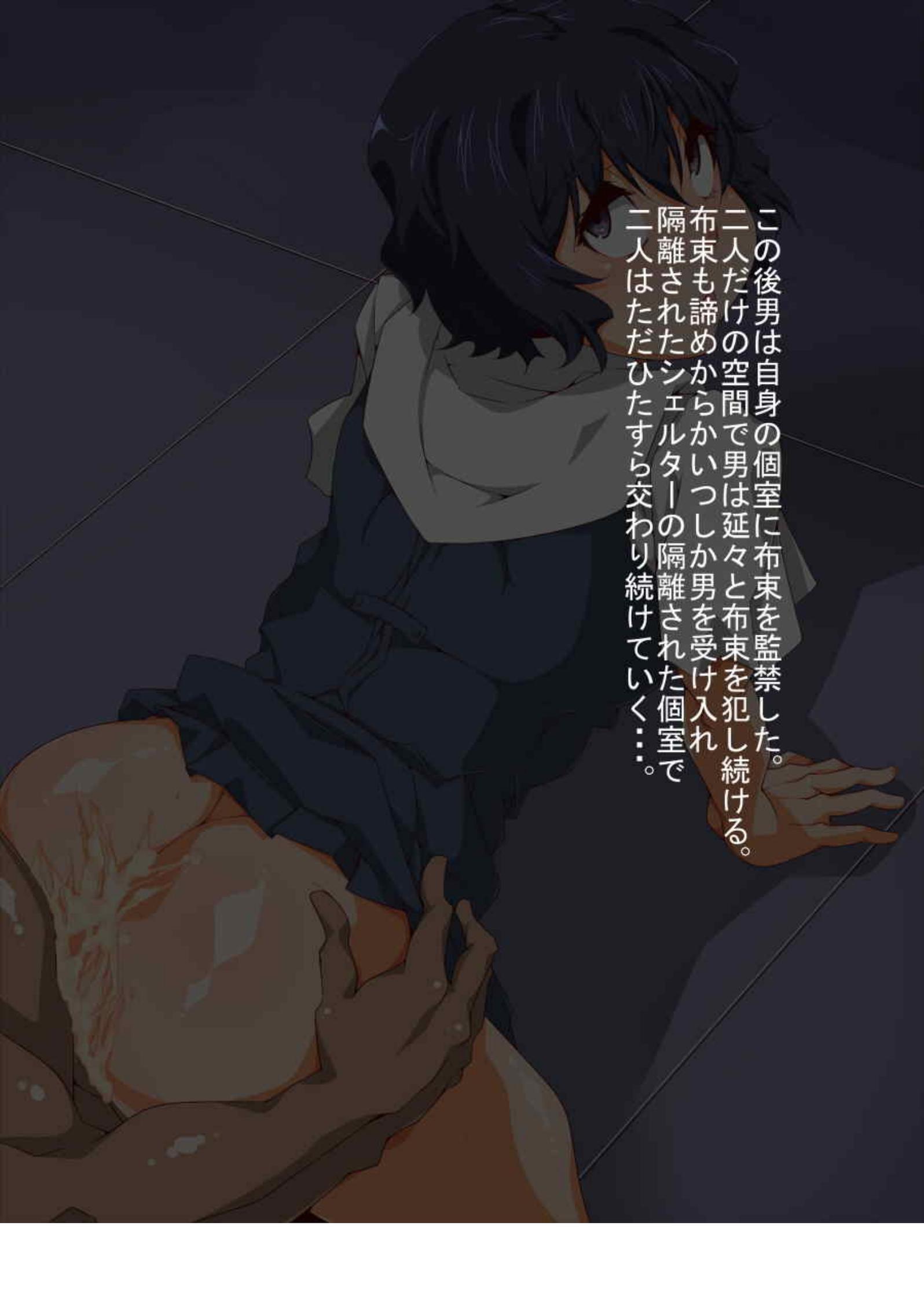
ああっ布束君っ!  
射精するよっ! ううう……  
ぼっ僕は君に子供を産んで  
もらいたいんだっ! 孕んでくれっ!  
孕めっえええっ!!!

ブジュ  
ブジュ  
ブジュ

やっと射精が終わった……  
Surrely  
まだ続けると……  
私はあなたの子を孕むしか  
ないのか……

ふうふう……射精たあ……  
射精たよ布束くんっ……  
でも見てくれ！まだまだ  
僕は君に注ぎ続けられるよっ！





この後男は自身の個室に布束を監禁した。  
二人だけの空間で男は延々と布束を犯し続ける。  
布束も諦めからかいつしか男を受け入れ  
隔離されたシエルターの隔離された個室で  
二人はただひたすら交わり続けていく……。

□木山春生□

木山春生はかつて事件を起こした責任により施設に拘留されていた。そんな監禁生活の中クーデターが起きる。彼女のいた施設は賊と化した学生達の進入を許してしまう。大方の強奪を終えた学生達は拘束された木山を見つけると彼女に乱暴を働こうとしてきたのだった……。

君達は私のような魅力の無い女にも  
欲情するのか……困ったものだ……  
まあ私と性行為をしたいというなら  
別にかまわないが……

そ……そうか……  
だがせめて「お姉さん」に  
してもらいたいな……

おおっ！  
ちよつとやつれてるが  
十分当たりの女だなっ！

なるにいつてんだよ  
こんなエロい身体  
しといてよ……  
正直おばさん俺の  
好みだっつーの……

おいおい  
告ってんじやねーよ馬鹿w

こっこれは……なかなか  
子宮にくるものだな……  
若者の勃起ペニスというのは……

ったく……  
そんなじゃ挿入れて  
やるとするか……

オラッ!!くらえっ  
奥まで突き崩してやるっ!!

スッ

プッ

アイッ

んっ……んっ……  
私ともあるうものが……  
こんな[ ]に感じさせられて  
しまうとは……  
んんんんっ♡んんんっ♡

んん

んん

ズ  
ズ  
ズ

おおっ……  
ババアあいてに必死に  
なりすぎだろw

おらっ！おらっ！おらあっ！  
子宮口小突いて墮としてやるっ  
おらっあああああ！！



……ふう……  
これはまだまだ  
休めそうにないな……  
困ったものだ……

おっおいっ  
次早くかわってくれよ  
見てたらこっちも興奮  
してきたぜ……

俺もこの女に  
膣内射精キメたいし  
その後回してくれよな？

ふう……ふう……  
射精た射精た……  
まったくお前らもこいつに  
十分興奮してんじゃねーかよ



三人の少年達はその後三周ほど木山の身体を楽しんだ後  
彼女を自分達のアジトへと運びこんだ。  
それから寝るか食事を取るか以外はセックス三昧である。  
若い彼らにとって木山の熟した身体は魅力的だったのだろう。  
木山もまた今まで味わったことのない若い精力に酔いしれた。  
過去も何もかも忘れた存外幸福と呼べる退廃的な  
日々を過ごしてゆくのだった……。